

大手の価格修正について

全国グラビア協同組合連合会
会長 田口 薫



今の日本の最大の課題は貧困です！ 何故か？ 非正規、非熟練の労働者が2,000万人もおり、国民6人に一人が貧困と言われています。この階層は購買力も乏しく、将来に大きな禍根を残すとされています。これらの労働者が中高年に達した時に生活保護の対象者が激増する。また今、50・80問題で引きこもりの50代の息子と80代の親の中で諸々の事件が起きています。話題となっているように貧困の連鎖を断つには定職を得て仕事に生きがいを感じて一生を送ることが通例です。今、川上と川下の大企業のみ潤い、川中には富は分配されません。私共に限らず3Kと言われる仕事は山ほどあります。貧困を救うためには川中をいじめて安価を出させると国民は豊かになれません。私達に相応の分配をしていただければ社員に、設備投資にお金が回せます。

私は1月21日の軟衛協、常任理事会で、価格転嫁をしっかりとやり、下請け企業にも相応に配分することを依頼しました。特に、低加工賃のために衛生管理が後回しになり、防虫異物の問題が出る可能性が高く、安く値切っていると事故が起きる。そうなれば傷つくのは発注側であり、最大の財産である信用を失うと警告しました。しかし、大手の値上げは指揮官の話と異なり、部下の兵隊クラスで動きが鈍く、私達はやきもきしています。3月9日の日印産連総務委員会（ステアリングコミッティ）において藤森会長の前で、価格転嫁の遅れ、特にアンケートの回答率が7%と全く低く（グラビアは50%）、問題意識が無いことを問題としました。

しかしながら事故は起きました。包材でなく菓子メーカーで起きました。この菓子メーカーは包材たたきで有名で、値上げの時は材料が入らないと、噂になる会社で、過剰なコストダウンの結果、安全コストを削り、火災の折り、70代の女性を含む6名が命を落とされた。従業員の聞き取り調査から安全対策の不備が明らかになり、3カ月の全工場操業停止となった。この事を「他山の石」としたい。

何故、値上げが進まないのかと言えば、各営業マンの売上ノルマが問題で、営業マンの評価方法を売上から利益に切り替えることを提案しました。売上交渉を会社から命じられて値上げを達成しても、自分のノルマが果たせなければ評価が下がる。こんな二律背反が顧客の前で値上げに二の足を踏むことになるかと私は考えました。果たして聞いていた大手役員の反応は？ あえて会議後に念を押しましたが、やや冷ややかな表情で、出来るわけがないというように「難しいですな」と言われました。私はトップに直訴しても適正価格を推進したい。自分のことだけ考える日本人では日本の将来も危うい。オフセット業界の二の舞はどうしても避けたい。

3月15日、日印産連の理事会で大日本印刷の北島社長、凸版印刷の鷹社長のお二方がWEB参加されたので強く訴えました。印刷各社が低収益に苦しみ、社員の待遇改善や設備投資をできずにいることは何としても改めなければいけない。営業マンが値上げを出そうと思っても売上ノルマがあると顧客の前で出さずに帰ってしまう。利益ノルマにすれば適正利益を追求する体制になる。印刷で利益の上からない部分を電子部材等、高付加価値品でカバーするのでなく本業でも利益を上げるよう転嫁をしていただければ、現内閣の方針にも叶う。大手が上げてくれないから等と言いつせすとも我々が先頭に立とうと、社員の生活を考えると他人のせいにはできない。勇気をもって価格転嫁に挑戦すれば、同業でもヤセ我慢派から転嫁派に変わる会社が増えてくる。

機械が止まることより赤字で生産している方がダメージが大きい。もう一度原価計算を見直してほしい。「安物買いの銭失い」は真理である。

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合 理事会報告

「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」について学ぶ 日印産連・全グラで価格改定アンケート調査実施

関東グラビア協同組合は2022年2月17日（木）午後3時から5時まで、完全オンラインにて定例理事会を開催しました。当日は、田口 薫理事長（大日本パッケージ㈱）、安永研二副理事長（東包印刷㈱）、山下雅稔副理事長（㈱巧芸社）、吉原宗彦副理事長（東京加工紙㈱）、橋本 章理事（橋本ゼロファン印刷㈱）、川田雄治理事（トーホー加工㈱）、山下博正理事（㈱日商グラビア）、村野 剛理事（信和産業㈱）、諸石武士（日本パッケージング㈱）、柴田里香理事（千代田オーク法律事務所）、袖山高明専務理事、佐藤裕芳監事（㈱千代田グラビヤ）、名和公久代理監事（㈱カナオカ）、村田英雄顧問の14名が出席した。



冒頭、田口 薫理事長は、「今、日本が抱えている最大の課題は、少子高齢化、人口減もあるが、すぐにでも自分たちの努力で直すこと

のできるものが1つある。それは貧富の格差是正と貧困の解消。自由主義経済で、市場がすべてを決定するという仕組みは一見良いようにも見えるが、独り勝ちの富んだ者と、その下で苦しむ貧者を作り出している。日本が営々として築いてきた人への思いやり、三方よし、あるいは美しい心、故人を責むというような、お金で買うことのできないような風土が、今、壊れつつある。わが業界からも人が去っている。労働条件が改善できない。原材料価格がどんどん上がっているのに、製品価格を上げることが困難といった、劣悪で不公正な商取引は放置してはならない。政府がこれを正し、公正を担保してくれる方向に動いてくれようとしていることは国全体にとってとても有益なことであり、グッドタイミングなことであるので、十分に議論していただきたい」と挨拶し、議題に移った。

1. 「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」について

昨年12月27日に経済産業大臣から関係事業者団体代表者宛に発せられた「中小企業の転嫁円滑化への配慮に関する事業者団体に対する要請」、そして内閣官房、消費者庁、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、公正取引委員会連名による「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」について説明があり、意見交換した。

2. 価格改定進捗状況アンケート調査実施の件

経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課から、（一社）日本印刷産業連合会を通じて依頼のあった「『パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ』の実施に向けたアンケートご協力をお願い」について説明があり、回答協力の要請があった。

同アンケートの速報は、GPJAPAN 今月号の6～11頁に収録しているので、参照いただきたい。

また、これとは別に、重複しない形で、全グラ独自に、価格転嫁状況についてのアンケートを实

施するので、こちらについても協力要請があった。

こちらのアンケートの速報も、比較のために、GPJAPAN 今月号の12～16頁に収録しているので、参照いただきたい。

関連して、親事業者との取引状況についての公正取引委員会への電子申請について説明があった。

3. 近況報告

出席者より、コロナウイルスの感染状況、原材料価格の高騰に伴う動きについての報告があった。後者に関連し、次のような指摘があった。

- 酢酸エチルの値上がり分の転嫁ができていない。
- 値上げしてくれても、数分の一で、それでありがとうございまして帰ってくるのは情けない。
- 4次・5次分の値上げは積み残している。
- 材質構成が違うにもかかわらず、一番安い構成材に合わせられている。
- インキメーカーから値上げ要請が来ている。

4. 第20回印刷産業環境優良工場表彰

2022年2月28日（月）まで第2次審査が行われているとの報告があった。表彰式は9月14日（水）にホテルニューオータニで開催される「2022年印刷の月 記念式典」で執り行われる予定。

また、「グリーンプリンティング工場認定制度」

無料説明会、2月16日（水）に開催された「じゃばにうむ2022」についての紹介があった。

5. 総会開催について

関グラ協組の第52回通常総会は5月19日（木）に第一ホテル両国で、全国グラビア協同組合連合会の通常総会は6月24日（金）にホテルニューオータニにてリアル開催を予定しているとの報告があった。

6. 決算予想

関グラ協組の令和3年度決算予想について報告があった。

7. その他

- 令和3年度補正予算 事業復活支援金
- ナフサ等の市況推移
- 無料配送について
- グリーンフレーション
- 食料品等の値上げ
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律
- JAPAN PACK 2022
- 脱炭素
- 小学校休業等対応助成金に関する特別相談窓口の案内



(一社) 日本印刷産業連合会

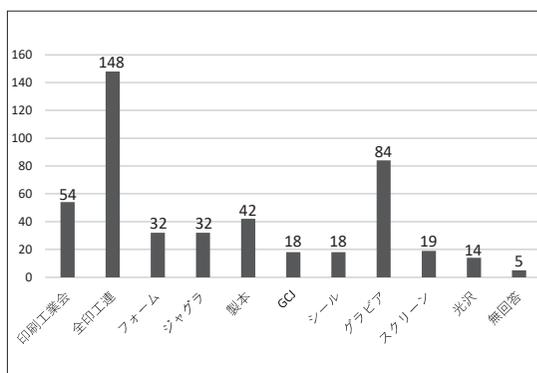
経済産業省「価格転嫁に関する調査」結果報告

中小企業や下請企業では、いまだに収束の見えない新型コロナウイルス感染症の影響や相次ぐ原材料の値上げにもかかわらず販売価格への転嫁に苦しむ状況が続く一方、大手企業ではコロナ以前の水準またはそれ以上の業績回復を見せるなど、事業活動に大きな差が生じている。こうした状況の中、昨年12月27日に中小企業等への支援として「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化パッケージ」が取りまとめられた。その中でも触れられている通り、中小企業が労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇分について適切に価格転嫁が行われる環境を整備すべく、経済産業省よりこれらのコストの上昇分について価格転嫁状況の実態把握調査の依頼を受け、2022年2月14日～25日まで、(一社)日本印刷産業連合会が会員10団体〔印刷工業会、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）、日本フォーム印刷工業連合会（フォーム）、日本グラフィックサービス工業会（ジャグラ）、全日本製本工業組合連合会（製本）、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会（JGC）、全日本シール印刷協同組合連合会（シール）、全国グラビア協同組合連合会（グラビア）、全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会（スクリーン）、全日本光沢化工紙協同組合連合会（光沢）〕の加盟企業6,888社に、GoogleFormによる「価格転嫁に関する調査」を実施し、令和3年10月以降（下期）の状況について、375件の有効回答が得られた。ここでは10団体および全グラ所属企業の84件の回答について紹介する。

なお、12頁以降には、全グラが組合員における価格転嫁の現在の状況や自社での取り組みについて、独自に行った調査結果を掲載するので併せて確認してもらいたい。

回答企業の属性

回答企業の事業分類を見ると、商業印刷が43.4%で最も多く、次いで包装印刷が26.2%であった。従業員規模では7割以上が100人以下の企業で、取引上の立場としては、46.7%が完成品メーカー、29.6%が一次下請、18.9%が二次下請、以下、3次下請、4次下請より川下の下請となっている。また、10団体別の回答数は右図の通りで、最も回答の多かった全印工連の148に次いで、グラビアからは84の回答があった。



【設問】 貴社の取引先（受注側・発注側企業）において、原価低減要請の方法について、口頭での要請等、振興基準に記載された以下の望ましくない事例を行わないことが徹底されていますか。

〈取引対価への反映に関する望ましくない事例〉

- ①コスト削減効果を十分に確認しないで取引対価への反映を押し付けること。
- ②下請事業者側の努力によるコスト削減効果を一方的に取引対価へ反映すること。
- ③具体的な根拠を明確にせずに、原価低減要請を行うこと。
- ④目標数値のみを提示しての原価低減要請、見積もりや提案要請をすること。
- ⑤原価低減要請に応じることを発注継続の前提と示唆して、事実上、原価低減を押し付けること。
- ⑥文書や記録を残さずに原価低減要請を行うことや、口頭で削減幅などを示唆したうえで、下請事業者から見積書の提出を求めること。

	全グラ		10団体	
	受注者側	発注者側	受注者側	発注者側
実施済	23 (28%)	53 (71%)	96 (26%)	172 (49%)
実施中	50 (60%)	19 (25%)	155 (42%)	115 (32%)
未実施	10 (12%)	3 (4%)	120 (32%)	67 (19%)

数字は回答数、() 内は回答率

10団体全体における受注側の回答では、「**実施済**」(80~100%、社内での周知・浸透や業務の仕組み作りが十分に進んでおり、実行できている)が26%、全グラ会員企業においては28%であった。「**実施中**」(40~80%、社内での周知・浸透や業務の仕組み作りを進めている、あるいは準備しているところであるが、実行できているのは一部に留まっている)については10団体では42%、全グラは60%、「**未実施**」(0~40%、社内での周知・浸透や業務の仕組み作りが十分に進んでいない)については、10団体で32%、全グラで12%という状況であった。

また、発注側における「**実施中**」や「**未実施**」の**主な理由**について聞いたところ、10団体、全グラともに、「**実施・徹底のための具体的な手法が分からないため**」との項目への回答が最も多かった。

	全グラ	10団体
社内の合意が難しいため	2	10
貴社が受注側となる取引において、発注側事業者からの改善が進んでいないため	4	52
実施・徹底のための具体的な手法が分からないため	14	128
その他	2	11

数字は回答数

【設問】 貴社の取引先（受注側・発注側企業）は、下請事業者から労務費の上昇に伴う取引対価の見直しの要請を受けた場合には、十分に協議することが徹底されていますか。

	全グラ		10団体	
	受注者側	発注者側	受注者側	発注者側
実施済	13 (15%)	44 (58%)	61 (16%)	161 (45%)
実施中	53 (63%)	21 (28%)	161 (43%)	117 (33%)
未実施	18 (21%)	11 (14%)	149 (40%)	76 (21%)

数字は回答数、() 内は回答率

10団体における受注側の「**実施済**」状況は16%、全グラは15%であった。「**実施中**」については10団体が43%、全グラが63%、「**未実施**」が10団体で40%、全グラで21%であった。

一方、発注側においては、「**実施済**」との回答した10団体が45%、全グラで58%と受注側の回答よりも高い割合であった。「**実施中**」については、10団体で33%、全グラで28%、「**未実施**」については、10団体で21%、全グラで14%であった。

また、発注側における「**実施中**」や「**未実施**」の回答の**主な理由**を見ると、「**実施・徹底のための具体的な手法が分からないため**」との回答が10団体で117、全グラで17と最も多く、次いで「**貴社が受注側となる取引において発注者側からの改善が進んでいないため**」との回答が、10団体で57、全グラで8という結果であった。

	全グラ	10団体
社内の合意が難しいため	5	20
貴社が受注側となる取引において、発注側事業者からの改善が進んでいないため	8	57
実施・徹底のための具体的な手法が分からないため	17	117
その他	3	20

数字は回答数

【設問】 2021年度(下期)に適用する単価の決定・改定にあたり、十分な協議を実施しましたか。

受注側では「一部実施」との回答が10団体で51%、全グラでは63%と最も多い回答であった。「実施済」については、10団体で20%、全グラで30%にとどまった。

発注者側については、「実施済」との回答が10団体で38%、全グラで64%と最も多く、次いで「一部実施」との回答が10団体が36%、全グラで32%であった。

	全グラ		10団体	
	受注者側	発注者側	受注者側	発注者側
実施済	25 (30%)	48 (64%)	74 (20%)	136 (38%)
一部実施	53 (63%)	24 (32%)	188 (51%)	128 (36%)
未実施	6 (7%)	3 (4%)	110 (30%)	89 (25%)

数字は回答数、()内は回答率

【設問】 前述の設問で「実施済」「一部実施」と答えた方へ、2021年度(下期)に適用する単価の決定・改定にあたり反映できたと考える項目は何か。

受注側の①最低賃金や人手不足等を理由とした労務費の変動については、「あまり反映できなかった」が10団体で46%、全グラでは51%で最も多い回答率であった。次いで、「一部反映できた」が、10団体で27%、全グラでは28%であった。②原材料価格の変動については、「一部反映できた」が10団体で47%、全グラで28%と最も高い割合であった。③電気料金や燃料費などのエネルギー価格の変動については、「あまり反映できなかった」との回答が、10団体で63%、全グラでは60%と最も割合が高かった。

発注側においては、①について回答が高かったのは、「あまり反映できなかった」は10団体で30%、全グラでは33%、「概ね反映できた」は10団体で27%、全グラでは23%であった。②については、「一部反映できた」が10団体で38%、全グラで40%、③については、「あまり反映できなかった」が10団体で37%、全グラで33%と最も回答

	全グラ		10団体	
	受注者側	発注者側	受注者側	発注者側
①最低賃金や人手不足等を理由とした労務費の変動				
概ね反映できた	8 (10%)	16 (23%)	34 (13%)	72 (27%)
一部反映できた	22 (28%)	16 (23%)	71 (27%)	69 (26%)
あまり反映できなかった	40 (51%)	23 (33%)	120 (46%)	78 (30%)
該当なし	8 (10%)	15 (21%)	35 (13%)	44 (17%)
②原材料価格の変動				
概ね反映できた	12 (16%)	25 (36%)	37 (14%)	94 (36%)
一部反映できた	45 (58%)	28 (40%)	121 (47%)	98 (38%)
あまり反映できなかった	20 (26%)	11 (16%)	98 (38%)	57 (22%)
該当なし	0 (0%)	6 (9%)	4 (2%)	12 (5%)
③電気料金や燃料費などのエネルギー価格の変動				
概ね反映できた	3 (4%)	18 (26%)	21 (8%)	69 (26%)
一部反映できた	24 (31%)	18 (26%)	57 (22%)	60 (23%)
あまり反映できなかった	46 (60%)	23 (33%)	163 (63%)	96 (37%)
該当なし	4 (5%)	11 (16%)	19 (7%)	36 (14%)

数字は回答数、()内は回答率

率が高かった。

【設問】 前述の設問で「一部反映できた」「あまり反映できなかった」と答えた方へ、その主な理由は何か。

受注側における①最低賃金や人手不足を理由とした労務費の変動については、10団体で「発注者に要請しなかった」との回答が45%、全グラ会員企業においては「発注者側と協議をしたが十分な結果が得られなかった」が44%で最も回答率が高かった。②原材料価格の変動については、「発注者側と協議をしたが十分な結果が得られなかった」

との回答が10団体で60%、全グラで86%と最も回答率が高かった。③電気料金や燃料費などのエネルギー価格の変動については、「発注者側と協議をしたが十分な結果が得られなかった」が10団体で40%、全グラで51%と最も回答率が高かった。

一方、発注者側においては、①について、10団体、全グラともに最も回答率が高かったのが「受注側事業者から要請されなかった」であった。②については、10団体では「受注側事業者から要請されなかった」が36%、全グラでは「受注者側と協議をしたが応じられなかった」が50%と最も回答率が高かった。③では、10団体では「受注側事

受注側

①最低賃金や人手不足を理由とした労務費の変動	全グラ	10団体
発注側事業者と協議をしたが、十分な結果が得られなかった	33 (44%)	79 (34%)
発注側事業者に要請したが、協議をしてもらえなかった	16 (21%)	37 (16%)
発注側事業者に要請しなかった	24 (32%)	106 (45%)
その他	2 (3%)	13 (6%)
②原材料価格の変動	全グラ	10団体
発注側事業者と協議をしたが、十分な結果が得られなかった	59 (86%)	141 (60%)
発注側事業者に要請したが、協議をしてもらえなかった	8 (12%)	33 (14%)
発注側事業者に要請しなかった	1 (1%)	34 (14%)
その他	1 (1%)	18 (11%)
③電気料金や燃料費などのエネルギー価格の変動	全グラ	10団体
発注側事業者と協議をしたが、十分な結果が得られなかった	39 (51%)	95 (40%)
発注側事業者に要請したが、協議をしてもらえなかった	16 (21%)	40 (17%)
発注側事業者に要請しなかった	19 (25%)	93 (39%)
その他	2 (3%)	11 (5%)

数字は回答数、()内は回答率

発注側

①最低賃金や人手不足を理由とした労務費の変動	全グラ	10団体
受注側事業者と協議をしたが応じられなかった	15 (36%)	41 (24%)
受注側事業者から要請されたが協議をしなかった	0 (0%)	0 (0%)
受注側事業者から要請されなかった	22 (52%)	112 (65%)
その他	5 (12%)	18 (11%)
②原材料価格の変動	全グラ	10団体
受注側事業者と協議をしたが応じられなかった	21 (50%)	57 (33%)
受注側事業者から要請されたが協議をしなかった	0 (0%)	0 (0%)
受注側事業者から要請されなかった	6 (14%)	62 (36%)
その他	15 (36%)	52 (30%)
③電気料金や燃料費などのエネルギー価格の変動	全グラ	10団体
受注側事業者と協議をしたが応じられなかった	20 (50%)	46 (28%)
受注側事業者から要請されたが協議をしなかった	0 (0%)	0 (0%)
受注側事業者から要請されなかった	12 (30%)	92 (56%)
その他	8 (20%)	27 (16%)

数字は回答数、()内は回答率

業者から要請されなかった」が56%、全グラでは「受注側と協議をしたが応じられなかった」が50%で最も回答率が高かった。

【設問】取引対価の決定にあたって、より円滑な協議を行うための課題をお答えください。

受注側において最も多かった回答は、「**発注側企業の理解**」で10団体では回答数307件、全グラでは同67件であった。次いで10団体では「**双方が納得できる根拠のとり方**」が同182件、全グラでは「**発注側企業の調達担当者の知識向上**」が同40件であった。

発注側においては、「**受注側企業の理解**」が10団体で回答数207件、全グラでは「**実効的なルールやマニュアルの策定、明確化**」が同36件で最も回答が多かった。

受注側

	全グラ	10団体
実効的なルールやマニュアルの策定、明確化	39	117
ルールやマニュアルの浸透、運用の徹底	23	76
発注側企業の理解	67	307
発注側企業の調達担当者等の知識の向上	40	176
貴社の営業担当者の交渉力や説明能力の向上	36	172
双方が納得できる根拠のとり方	33	182
第三者的な調整の仕組み	15	77
協議記録の保存	7	36
その他	1	5
課題なし	6	15

数字は回答数

発注者側

	全グラ	10団体
実効的なルールやマニュアルの策定、明確化	28	95
ルールやマニュアルの浸透、運用の徹底	21	78
受注側企業の理解	36	207
貴社の調達担当者等の知識の向上	22	127
受注側の営業担当者の交渉力や説明能力の向上	22	123
双方が納得できる根拠のとり方	32	202
第三者的な調整の仕組み	13	59
協議記録の保存	5	38
その他	4	17
課題なし	0	0

数字は回答数

【設問】労務費、原材料費、エネルギーコストの上昇を理由とした価格転嫁について、「発注側事業者と協議をしたが、十分な結果が得られなかった」「発注側事業者に要請したが、協議をしてもらえなかった」といったケースがある場合、発注側の業種は何か。

〈10団体全体の回答（174件）より〉

印刷業（大手印刷会社・印刷同業の元受け会社・同業者）〈27件〉、食品業界（飲料・製造）〈14件〉、製造業（雑貨製品製造業・自動車製造業・日用品雑貨・電機メーカー・家庭用品）〈9件〉、出版社〈7件〉、公共団体（地方公共団体・地方自治体・学校）〈6件〉、小売り（大手アウトレットパーク・通信販売・量販店・スーパー）〈6件〉、コンバーター（グラフィコンバーター・軟包装コンバーター）〈5件〉、商社（総合商社・紙商・その他商社）〈5件〉、官公庁（行政・役所関係・入札案件）〈5件〉、菓子メーカー〈5件〉、卸売業（材料卸・大手流通・流通・問屋）〈4件〉、軟包装業界（中小グラフィ印刷・包材商社・包装資材）〈3件〉、食品トレーメーカー、紙加工（紙器業）、製版加工業、製本、機械工業、医療品（医薬品）、化粧品、サービス業、マスコミ、飲食業（大手居酒屋チェーン）、広告代理店、制作会社、金融業、公益財団法人（協同組合）、設計コンサルタント、その他（全業種・多種多様・特定不可）。

【設問】価格転嫁について、「発注側事業者と協議をしたが、十分な結果が得られなかった」、「発注側事業者に要請したが、協議をしてもらえなかった」といったケースがある場合、具体的な問題事例は。

自由回答として10団体より115件の回答が得られた。以下にフリーコメントの一部を紹介する。
○「ほかの業者がまだきていない」「こちらも顧客に転嫁ができていないので無理」「根拠を示せ

- と、時間を長引かせているにも思える交渉姿勢」
「上司に伝えておくなど、決定権を持つ人の顔が見えない」「労務費は値上げとして認められない。」と、労務費の値上げを認めてもらえない。
- 年度の予算が既に決まっている・先方担当者が短期間でわかり、発注に必要な知識が浅い。
 - ①資材調達の予算が決まっている。②他社は値上げに来ていない③他社の低い値上げ率に合わせられる。④改定期日を記載した価格改定書の効力がない・無視される。
 - 2次取引の場合、1次取引会社又はその先のメーカーが受け入れてもらえないケースがある。
 - エンドユーザーが、値上げに応じない為、値上げに応じられないとの回答。
 - コスト上昇の明細を提示するも、売価に反映出来ない、競合他社からの申し出がないとの理由で十分な結果が得られなかった。
 - コロナで仕事が減少したため。
 - それぞれのコスト上昇の経緯や理由・金額を、複数年の比較資料として提出するように求められ、資料作成にかかる労力・時間を考えると協議を断念することを選択した
 - マーケット（売場）の価格競争が厳しく、発注側も価格転嫁出来ず我々にも影響があります。
 - より安い業者に回されてしまう。ネット印刷の方が安いと言われる。
 - 安値のみを採る仕組みになっている。官公庁にいたっては最低価格の設定がないため、受注して稼働すると最低賃金を下回る案件があるように感じられるが、その方面での検証が行われないため黙認され続けている。
 - 暗黙の了解となっている
 - 一部ではあるが一切の価格修正を一方向的に認めず、価格修正の見積もり相談を申し込むと他社

- より指値をして商権を他社へ切り替えると脅し文句を言われてしまう。それ以外のユーザーにおいてもコロナ関連にて業績低迷している企業などからは満足な回答は殆ど得られていないのが実情である。
- 一方向的な価格改定のおしつけ。買いだめと複数仕入れがせめてもの抵抗か。
- 発注の継続を前提として価格の改定を拒否。
- 発注企業の業績が悪化しており、利益幅を上げるよう上席から仕入費用抑制を担当者が強いられ、当方が協力費用として値引きした見積もりを提出した際、同時に地方業者から相見積もりを取得され20%程度の差があり、最低賃金格差も大きく原材料費高騰も含め交渉したが、特殊加工であり他業者に発注することが不安で何とか地方業者に近づける価格で調整してもらえれば当社に発注したいとの依頼で、止むを得ず引き受ける事に。
- 発注業者に労務費、原材料費などの上昇を理由として値上げ交渉を行ったが、「お客さんにそれを受け入れてもらえない」ということで、値上げしてもらえず、値上げしてもらえない場合は、受注できない旨を伝えたところ、その仕事は発注されなくなった。
- 発注者へ10%の価格転嫁を要望した（しっかりとした根拠に基づく価格値上げ幅）が、1%しか認めてくれておらず、発注者と交渉中。
- 発注者側の先（販売先）にて価格転嫁が出来ていない、転嫁が不十分、食品トレーメーカー⇒問屋⇒食品メーカー⇒量販店の流れの中で転嫁が途中で止まる。
- 労務費については、最終メーカーの合意が得られないため協議不可というもの。

全国グラビア協同組合連合会 緊急アンケート

「グラビア事業者の価格転嫁状況」集計結果について

2022年2月28日～3月15日まで、全国グラビア協同組合連合会が緊急アンケート「グラビア事業者の価格転嫁状況」を実施、その結果がまとめられた。会員161社のうち、メールアドレスを得ている150社にメールで質問表を送付、51社から回答が得られた。6頁に掲載した日印産連の「価格転嫁に関する調査」とは異なる組合独自の調査となり、組合員の現在の置かれている状況がより詳細に浮き彫りになっている。なお、ここでは、価格転嫁に関連する調査の一部の結果を紹介するが、すべての結果は、経産省等に提出し、実態調査のフォローアップの参考にされる。

【質問】 価格改定を要請しましたか。

質 問		○	×	無回答
1. 価格改定を要請しましたか。		48	1	2
①どのように価格改定を要請しましたか。	「印刷物御発注に関するお願い」の提出	36	8	7
	見積書の提出	46	1	4
	口頭での依頼	29	11	11
	その他	4	15	32
	その他と答えた方は自由記述にてお願いいたします。	フリー回答		
	②価格改定の話は聞いてもらえましたか。聞くだけは聞いてもらえた場合は○、全く取り合ってもらえなかった場合は×を選択してください。	47	1	3
③使用フィルムの調達状況を教えてください。	先方紙	27	13	11
	当方紙	33	4	14
	有償支給紙	15	13	23
	その他	3	11	37
	その他と答えた方は自由記述にてお願いいたします。	フリー回答		

価格改定の要請については、48社が要請を実施。このうち、価格改定について話を聞いてもらえたとの回答は47件で、全く取り合ってもらえなかったとの回答も1件見られた。また、価格改定の要請の方法については、見積書の提出が46件で最も多く、次いで「印刷物御発注に関するお願い」の提出（36件）、口頭での依頼（29件）と続いた。

【質問】 原材料値上げを認めてもらえましたか。

質 問		○	×	無回答
2. 原材料値上げを認めてもらえましたか。		46	2	3
①設問2にて【○】と答えた方への質問です。どの程度、値上げを認めてもらえましたか。全額の場合は○、一部の場合は×を選択してください。		4	42	5
②設問2にて【×】と答えた方への質問です。先方の言い分はありましたか。	他社からは依頼が来ていないから。	29	4	18
	自社も値上げが出来ていないから。	27	5	19
	値上げの最中に他社から現行より安い見積もりが来たから。	9	16	26
	値上げは認めるが、提示した金額は無理と言われた。	35	0	16
	すぐには出来ないと言われた。	30	2	19
	事情は分かるが受け入れられないと言われた。	17	9	25
	原価明細や原価構成の提示を要求された。	13	15	23
	企業努力はしたのかと問われた。	10	16	25
	上司に伝えたが通らなかった。	22	15	14
	逆に値下げに協力してほしいと言われた。	5	21	25
	値上げを要請したら仕事は出さないと脅された。	5	21	25
	仕事を減らされた。	6	20	25
	仕事がなくなった。	1	23	27
	未だ無回答。無視されている。	11	16	24
	その他	3	9	39
その他と答えた方は自由記述にてお願いいたします。	フリー回答			

原材料値上げについて、認められたとの回答は46件、認められなかったとの回答が2件であった。このうち、全額の値上げが認められたとの回答は4件、42件は一部のみ値上げが認められたとの回答であった。

【質問】 原価高騰の値上げは認めてもらえましたか。

質 問		○	×	無回答
3. 原価高騰の値上げは認めてもらえましたか。		39	5	7
①設問3にて【○】と答えた方への質問です。原価高騰どの部分を認めてもらえましたか。	フィルム（OP）	32	1	18
	フィルム（CP）	31	1	19
	フィルム（PET）	24	5	22
	フィルム（Ny）	24	4	23
	フィルム（その他）	21	2	28
	アルミ箔	20	5	26
	紙	7	12	32
	不織布	6	12	33
	インキ	34	7	10
	溶剤	34	7	10
	製版代	3	22	26
	配送コスト	7	20	24
	エネルギーコスト	9	19	23
	労務費	4	22	25

質 問		○	×	0 以下	1~ 20%	21~ 50%	51~ 70%	70% 以上	無 回答
3. 原価高騰の値上げは認めてもらえましたか。									
②各項目につきまして、どのくらいの幅上がりしましたか。	フィルム（OP） 増加率（%）			1	25	9	0	0	16
	フィルム（CP） 増加率（%）			1	24	9	0	0	17
	フィルム（PET） 増加率（%）			0	0	0	0	0	0
	フィルム（Ny） 増加率（%）			2	27	2	0	0	20
	アルミ箔 増加率（%）			6	13	8	0	1	23
	紙 増加率（%）			11	12	0	0	0	28
	インキ 増加率（%）			8	32	2	0	0	9
	溶剤 増加率（%）			7	26	4	2	2	10
	製版代 増加率（%）			14	13	0	0	0	24
	配送コスト 増加率（%）			13	17	1	0	0	20
	エネルギーコスト 増加率（%）			14	12	3	1	0	21
労務費 増加率（%）			17	14	1	0	0	19	
③値上げを認められたうち希望値上げ幅が以下に当てはまる得意先はありましたか。	希望値上げ幅の5%以下	20	11						20
	希望値上げ幅の6~20%	24	9						18
	希望値上げ幅の21~50%	21	10						20
	希望値上げ幅の50%以上	17	11						23
	④設問③につきまして、社名記載が可能な場合は自由記述にてお願いします。	フリー回答							
	⑤値上げは認められたが別の形でサービスを強要された。	2	32						
⑥設問⑤にて【○】と答えた方、内容を自由記述にてお願いします。	フリー回答								

原価高騰の値上げが認められたとの回答は39件、認められなかったとの回答は5件であった。認められたとの回答のうち、インキ、溶剤において認められたとの回答がいずれも34件と最も多く、次いでフィルム（OP）が32件、フィルム（CP）が31件と続く。

値上げ幅については、1~20%のところで回答が多く見られる。数は少ないが、51~70%、70%との回答も見られた。

【質問】 価格転嫁しなくてはならないうち、達成率はどれくらいでしょうか。

質 問	0以下	1~ 20%	21~ 50%	51~ 70%	70% 以上	無回答
7. 価格転嫁しなくてはならないうち、達成率はどれくらいでしょうか。	2	11	12	14	8	4

価格転嫁の達成率については、回答が多かったのが51~70%で14件、21~50%で12件、1~20%で11件となっており、0以下（2件）や70%以上（8件）との回答も見られた。

【フリー回答】

●どのように価格改定を要請しましたか。

- 営業部が個別訪問対応で実施中
- 口頭→価格改定依頼文章→個別見積りの順で段階踏み実行中。
- 「印刷物御発注に関するお願い」同内容の自社文書を提出しました
- 見積書を提出し面談のうえ、満額回答は稀です。交渉の後に、妥結した見積書を再提出します。ナフサ価格推移表、新聞記事を添付しました。
- メールでアナウンス、TELにてお願い。了承後に見積もり書改定し提出。ある得意先は、書面の提出あり。
- グラビア製版会社です。銅、ニッケルの高騰、ガソリン代、運賃高騰と包材メーカー同様に苦しんでいます。西側の競合で下を潜るところが有り、方法論を検討中です。

●使用フィルムの調達状況を教えて下さい。

- 先方紙と当方紙、それぞれあります。どちらも、種類によって状況は異なりますが、入荷が不安定であったり、納期に相当の時間を要する原紙もあります。原紙メーカーは、この1年間で既に4回の値上げを実行しており、その上に、供給が不安定なのは、弊社が得意先へさらなる値上げ交渉する上で足枷となりかねない。原紙メーカーには供給責任をしっかりと果たすよう求めたい。
- 紙の価格転嫁を受け入れないために、当方紙の契約を、支給紙にするという条件を提示される。

●原材料値上げを認めてもらえなかった先方の言い分は何ですか。

- 労務費の価格転嫁は認めない。
- 顧客に値上げできた分だけ還元する。それ以上は無理。時期を先延ばしされた。
- 商権の優位性を持ち出してくるので、値上げの

話をするると他の会社に振られかねない。

●値上げは認められたが別の形でサービスを強要された

- 原紙支給および原紙販売
- 在庫数の増加

●値上げをできた理由、出来なかった理由を教えてください。

- 他社から破格の安価な見積が出された為、値上げ出来ない又は、取引解除を申し出た
- 交渉中
- 相手との強い信頼関係
- 原料高騰には理解をさせていただいた
- 価格改定時期が決まっているため、それまでは無理だと言われた。
- 量販店がメーカーの値上げを拒むことが多く、この影響で価格改定が進まない。
- 丁寧に根気よくお願いをしている コンバーターはすぐには認めず上げ幅も微量
- 具体的に原価を説明し、強引に押し切った。(注文を断ることも辞さないつもりで説明した)
- 1. 原材料価格の高騰への理解と共感を得るまで交渉した。 2. 同業他社(特に大手)からの見積り提出がないので、待つて欲しいと言われた。
- 値上げ交渉に快く承諾というわけではなく加工を受けられないということも含めた交渉をしたことで仕方なく受けてもらった。しかし受注量は間違いなく減ってきている。できていないところは時期を延ばされているがおおよそ希望に近い所で承諾してもらった
- 小幅ながら値上げが出来たユーザーは原油相場などの状態を一応理解されているからだと思う。しかし小幅に落ち着いている理由はインバウンドを始めとする観光需要の低迷、外食産業への規制からくる業務用食材の流通鈍化等が大きく

影響し、ユーザー自体も景気低迷に苦しんでおられる為、我々の要求する価格修正についても満額の回答が得られていないと考える。

- PB アイテム値上げ苦戦、大手食品メーカーは希望%の半分以下が大半 決定時期も遅い 納期遅延を理由に値上げを打ち出せていない当社事情もある
- 世の中情勢を見ると0回答は出来ない様子であったので、多少の値上げは認めたもらった
- 受注が溢れている同業者様は直ぐに値上げを呑んで頂いたが、中間や商社のお客様は自社が値上げできてからとかかわされてしまう。
- 下を潜る競合の存在。一社は主戦場が他地域に有る会社で東海を新規開拓しているため異常な見積もりを提示している。別の一社はコンバーター子会社の製版会社で、同様異常な安値で受注。現在対応に苦慮しながら値上方法検討中。
- 原材料（インキ・溶剤）のコスト増加分のデータを提示しました。
- 出来た理由：相見積もり 出来なかった理由：競合相手の値上げが遅れている
- 原材料価格の高騰がメディア通じて浸透してお

り、値上げは概ね認めて頂いた。が、要求額に対し、3割ほどしかのんでもらえない。大手企業の中では1%しか認めない会社もあった。（再交渉中）

- 顧客先も同業である為、理解を得た。
- 適正額の値上げを依頼。他社と合わせることはしない、他社の動向も気にしない。
- 社会情勢をみて値上げを認めてもらえる会社様もありますが、値上げのタイミングがあわずもう少しまってほしいとの要望があった会社様もありました。
- できた理由……新聞やマスコミ情報の裏付けがあったため できなかった理由……業界大手の値上げ幅が低く、開始も遅い。
- 値上げできた理由は、全ての原材料が値上がりしており、得意先の製品も値上げすることなどが理由。また、供給状況が不安定であることも理由のひとつです。
- 今回は流石に全体が値上基調な為、受入してもらいやすかった。ただし、満額ではない。
- この値上げは昨年からの分で、今年の方は全く見通しが立っていない。

Information

日産連、印刷業界「2050年カーボンニュートラル宣言」を公表

（一社）日本印刷産業連合会は、印刷業界として持続可能な社会の実現に貢献していくため、

「2050年カーボンニュートラル宣言」を業界内外に公表し、実現に向けて積極的に挑戦していく。

印刷業界「2050年カーボンニュートラル宣言」

わたしたちは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、「エネルギー起因の排出極小化」、「プロセス・構造の転換」、「印刷技術による地域社会づくり」に取り組み、持てる技術、知恵を結集し、積極的に挑戦していきます。

具体的な取り組み

1. 事業活動におけるエネルギー起因の排出極小化
①省エネ活動のさらなる推進、②再生可能エネルギー、新エネルギーの利用拡大、③プロセス・構造の転換によるエネルギー効率の最大化
2. カーボンニュートラル社会への“印刷の貢献”
①新たな情報文化の創出、②新たな生活文化の創出、③低炭素な地域社会づくりに貢献

日商グラビアの都築晋平理事、JAPAN PACKで「世界でオンリーワンのマルチ校正機」プレゼン

8色分のグラビア版をセットし、フィルムを圧胴に巻き、1色ずつ刷り重ねて色を見る、印刷立ち会い専用機として開発された(株)日商グラビアのマルチ校正機。色変更の指示に素早く対応し、印刷条件をデジタルで記録でき、印刷したフィルムを異なるフィルムと貼り合わせるドライラミネートも可能。同社の都築晋平理事は、JAPAN PACK 2022初日の2月15日(火)午後1時より、(株)進洋のブースにて企画された「パッケージスペシャルトーク」に登壇し、「世界でオンリーワンのマルチ校正機」と題したプレゼンテーションを行った。



都築氏は、まず、マルチ校正機活用の目的について、①高品質な色再現確認ができる、②コロナ禍での色確認に最適、③環境負荷を大幅に削減の3点を指摘。

〈高品質な色再現確認ができる〉については、「印刷立ち会いでは、色を微妙に変えて、商品を更によく見せたい、もう少し、ここのシズルを何とかしたい、カラーの色相を赤味に振ったうえで青味が沈んでほしいとか、その時、明度も保ってほしい、そのような指示がお客様からある。マルチ校正機では、本番で使用する版やフィルム、インキを使用して微妙な調整に素早く対応できる。1回の色出しで、面ごとに違う色の印刷物を確認できる」、〈コロナ禍での色確認に最適〉については、「印刷立ち会いでお客様に来社いただくのが困難な状況にある。マルチ校正機を使用することで数種類の校正刷りを作り、お客様にお届けして確認していただくことが可能」、〈環境負荷を大幅に削減〉については、「色出しするためのインキ、フィルムを大幅に削減できる。本機を長時間立ち会いで使用する場合、電気消費量や乾燥からのCO₂が多く発生する。昨今、SDGsの13の目標、気候変動に

具体的な対策を、がある。マルチ校正機を使用することで、電気エネルギーや原材料を少なくすることで、CO₂の排出抑制が可能になる」と解説した。

更に、マルチ校正機の特徴として、①事前に良否判定ができる、②一度の印刷で数種の色出しが可能、③ドライラミネート(DL)が可能となった、④原材料のフィルム削減効果、⑤原材料のインキ削減効果などについて説明を加えた。

DLについては、マルチ立ち会いで、色が承認され、本機印刷を行い、その後、DLでアルミ蒸着を貼ると、白色などが暗くなり、グレーになることがある。そのためカラーの発色も沈む傾向にあるので、ラミ、スリット、製袋を経て納入後に、印刷物と色が違うというクレームを受けたことがあるのでは。通常は印刷物の下にアルミ蒸着物を敷いて、その間に水を付けて密着させて色を見るが、その色を見るのもあくまでも疑似的に見ている(色を想像している)。そこで、マルチ校正機は、色立ち会いを行い、その場でDLができるので、お客様から色がOKとなった場合、その印刷物に接着剤を付けて、裏貼りにある蒸着フィルムなどを貼り、ラミネート加工後の色をその場で見る事ができる。

PRTR 令和2年度（2020）データ公表

届出排出量は前年度比11.4%減の124千トン トルエン排出量は42千トン

文責：全グラ事務局

平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）」に基づき、「化学物質排出移動量届出制度（PRTR 制度）」が導入されました。

PRTR 制度では、相当広範な地域の環境において継続して存すると認められ、かつ、人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれのある化学物質（第一種指定化学物質）について、事業者は環境中へ排出した量（排出量）や廃棄物などとして処理するために事業所の外へ移動させた量（移動量）の届出を行い、国はその集計結果および届出対象外の排出量の推計値の集計結果を公表することとされています。

経済産業省は、環境省と共同で当該排出量等を集計するとともに、届出対象外の排出量の推計および集計を行い、その結果を取りまとめました。

1. 令和2年度 PRTR データの概要

届出のあった全国の32,890事業所の令和2年度の排出量・移動量について集計したところ、排出量は124千トン（対前年度比11.4%の減少）、移動量は230千トン（対前年度比6.3%の減少）、排出量と移動量の合計では354千トン（対前年度比8.2%の減少）となりました。排出量は3年連続、移動量は2年連続の減少となりました（図1）。

また、施行令改正前後における継続物質[※]の排出量は11千トン（対前年度比12%の減少）となり、引き続き減少傾向となりました（図2）。

※継続物質：物質見直しの前後で継続して届出対象物質として指定されている276物質

2. 届出事業所数

全国の届出事業所数は、表1の通りでした。
令和2年度の全業種の届出事業所数は32,890、

印刷業、プラスチック製品製造業は290事業所と1,024事業所でした。

3. 業種別の届出排出量

届出排出量の合計全業種（46業種）の届出排出量の合計は124千トンです。上位10業種の届出排出量の合計は101千トンで、総届出排出量の82%に当たります。上位10業種は、輸送用機械器具製造業（31千トン、25%）、化学工業（15千トン、12%）、プラスチック製品製造業（14千トン、11%）、金属製品製造業（10千トン、8.2%）、一般機械器具製造業（6.1千トン、4.9%）、非鉄金属製造業（6.5千トン、5.2%）、パルプ・紙・紙加工品製造業（5.6千トン、4.5%）、出版・印刷・同関連産業（5.1千トン、4.1%）、ゴム製品製造業（4.5千トン、3.6%）、電気機械器具製造業（4.2千トン、3.4%）の順です（図3）。

図1 届出排出量・移動量の推移

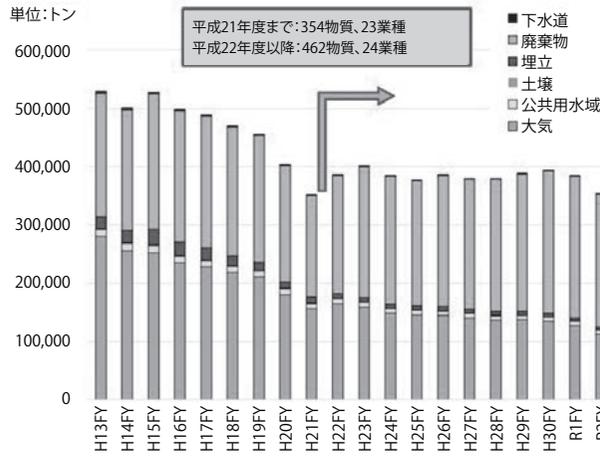


図2 継続物質の届出排出量の推移

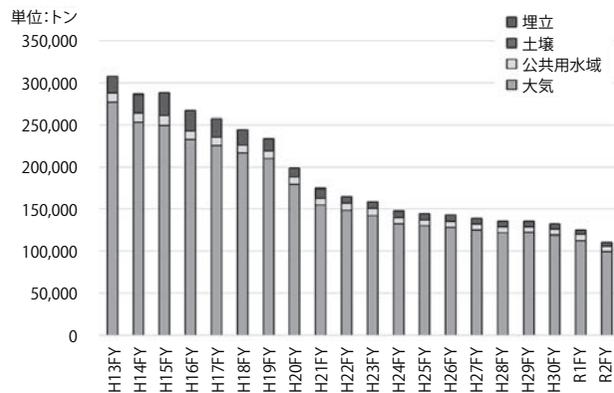
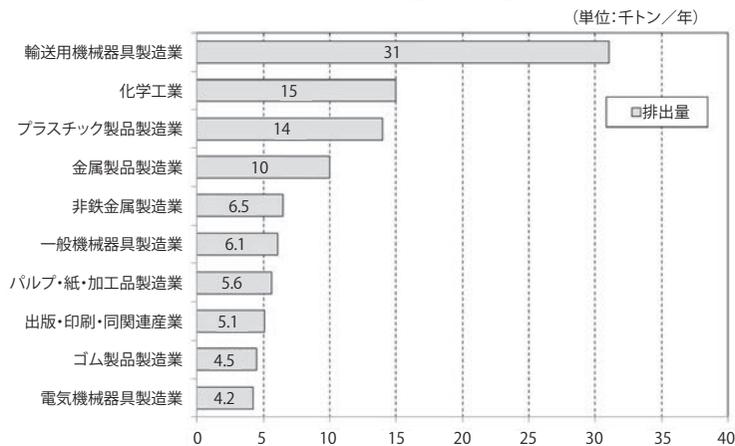


図3 届出排出量上位10業種とその量



4. 届出排出量上位10物質

届出排出量上位10物質の合計は107千トン、総届出排出量比率86%でした。上位10物質の各排出量は表2の通りです。

表1 出版・印刷業およびプラスチック製品製造業届出事業所数

	全体	出版・印刷	プラ製品
R2年度	32,890事業所	290事業所	1,024事業所
R元年度	33,318事業所	301事業所	1,036事業所
30年度	33,669事業所	304事業所	1,044事業所
29年度	34,253事業所	304事業所	1,039事業所
28年度	34,668事業所	308事業所	1,059事業所
27年度	35,274事業所	311事業所	1,075事業所
26年度	35,573事業所	325事業所	1,070事業所
25年度	35,974事業所	330事業所	1,086事業所
24年度	36,504事業所	344事業所	1,097事業所
23年度	36,638事業所	355事業所	1,108事業所
22年度	36,491事業所	363事業所	1,094事業所
21年度	38,141事業所	370事業所	1,068事業所
20年度	39,472事業所	389事業所	1,093事業所
19年度	40,845事業所	400事業所	1,112事業所
18年度	40,980事業所	396事業所	1,028事業所
17年度	40,823事業所	395事業所	1,033事業所
16年度	40,341事業所	367事業所	948事業所
15年度	41,079事業所	363事業所	944事業所
14年度	34,497事業所	300事業所	828事業所
13年度	34,820事業所	317事業所	848事業所

5. 出版・印刷・同関連産業の届出排出量・移動量の主な状況

届出排出量・移動量の上位物質は、表3の通りです。この値は、この業種の届出排出量・移動量全体の96%に当たり、排出量と移動量の比率は、排出量が73%、移動量が27%です。トルエンは主にグラビア印刷のインキの溶剤等に使用されています（表4参照）。

表2 対象化学物質の届出排出量の上位10物質

物質番号	対象化学物質 物質名	届出排出量 合計 (トン/年)	届出排出量 割合 (%)
80	キシレン	20,975	16.9
53	エチルベンゼン	13,540	10.9
392	ノルマルーヘキサン	8,763	7.1
186	塩化メチレン	8,287	6.7
318	二硫化炭素	3,218	2.6
305	鉛化合物	3,118	2.5
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	2,572	2.1
405	ほう素化合物	2,351	1.9
281	トリクロロエチレン	2,094	1.7
上位10物質の合計		106,708	86.0
合計		124,114	100.0

表3 出版・印刷・同関連産業の届出排出量の主な状況

物質番号	対象物質 物質名	届出排出量 (トン/年)				届出移動量 (トン/年)			届出排出量・ 移動量合計 (トン/年)	当該業種 内比率 (%)	
		大気	公共用 水域	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道へ の移動			合計
300	トルエン	5,010	0	0	0	5,010	1,477	0	1,477	6,487	90.4
71	塩化第二鉄	0	0	0	0	0	197	0	197	197	2.7
407	ポリ(オキシエチレン) =アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのものおよびその混合物に限る)	0	0	0	0	0	178	0	178	178	2.5
上位3物質の合計		5,010	0	0	0	5,010	1,852	0	1,852	6,862	95.6
出版・印刷・同関連産業の合計		5,148	0	0	0	5,148	2,028	3	2,028	7,178	

表4 出版・印刷・同関連産業のトルエン排出量

	排出量(トン)	前年比(トン)	対前年減少率	指数
R2年度	5,010	△545	△10%	21.1
R元年度	5,555	△527	△9%	23.3
30年度	6,082	△56	△1%	25.6
29年度	6,138	△115	△2%	25.9
28年度	6,253	△93	△1%	26.4
27年度	6,346	△314	△5%	26.7
26年度	6,660	△249	△3%	28.1
25年度	6,906	△79	△1%	29.1
24年度	6,985	△765	△9%	29.4
23年度	7,750	△863	△10%	32.6
22年度	8,613	△2,462	△22%	36.3
21年度	11,075	△1,796	△14%	46.6
20年度	12,871	△1,932	△13%	54.2
19年度	14,803	+1,616	+12%	62.3
18年度	13,187	+131	+1%	55.5
17年度	13,056	△1,392	△9%	55.0
16年度	14,448	△2,732	△16%	60.6
15年度	17,180	△3,292	△16%	72.4
14年度	20,472	△3,268	△14%	86.2
13年度	23,740	—	—	100.0

6. トルエン

トルエンの届出排出量・移動量の合計は86千トン（総届出排出量・移動量の24%）で、このうち届出排出量の合計は42千トン（総届出排出量の34%）を占め、そのほぼ100%が大気への排出となっています。大気への排出量は、全物質合計の大気への排出量の37%に相当します。届出移動量の合計は44千トン（総届出移動量の19%）です。トルエンの届出排出量・移動量の上位10業種は、表5の通りです。これら上位10業種における届出排出量・移動量合計に対する割合は、化学工業が移動量の割合が高いのに対して、他の9業種はいずれも排出量の割合が高くなっています。

表5 トルエンの届出排出量・移動量の上位業種

業種コード	対象業種	届出排出量 (トン/年)	届出移動量 (トン/年)	届出排出量・ 移動量合計 (トン/年)	業種別割合 (%)	届出排出量 割合 (%)	届出移動量 割合 (%)
	業種名						
2000	化学工業	3,413	32,540	35,953	41.9	9.5	90.5
2200	プラスチック製品製造業	9,073	3,592	12,665	14.8	71.6	28.4
3100	輸送用機械器具製造業	7,640	868	8,509	9.9	89.8	10.2
1900	出版・印刷・同関連産業	5,010	1,477	6,487	7.6	77.2	22.8
1800	パルプ・紙・紙加工品製造業	3,087	1,128	4,215	4.9	73.2	26.8
2300	ゴム製品製造業	3,172	366	3,539	4.1	89.6	10.4
2800	金属製品製造業	2,460	839	3,299	3.8	74.6	25.4
2900	一般機械器具製造業	1,992	372	2,364	2.8	84.3	15.7
3000	電気機械器具製造業	1,594	743	2,337	2.7	68.2	31.8
2500	窯業・土石製品製造業	1,032	294	1,330	1.6	77.6	22.4
上位10業種の合計		38,474	42,225	80,699	94.1	47.7	52.3
全業種の合計		41,790	43,988	85,778	100.0	48.7	51.3

【届出対象事業者は翌年の4月1日より6月30日までに届出書を提出して下さい】

下記に示す事業者の方がPRTRの届出を行う必要があります。

※なお、貴事業者が届出対象事業者に該当するかどうかの詳しい判定方法は、「PRTR 排出量等算出マニュアル」(<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/calc.html>)を参照してください。「PRTR 排出量等算出システム」(<http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtr/index.html>)でも判定ができます

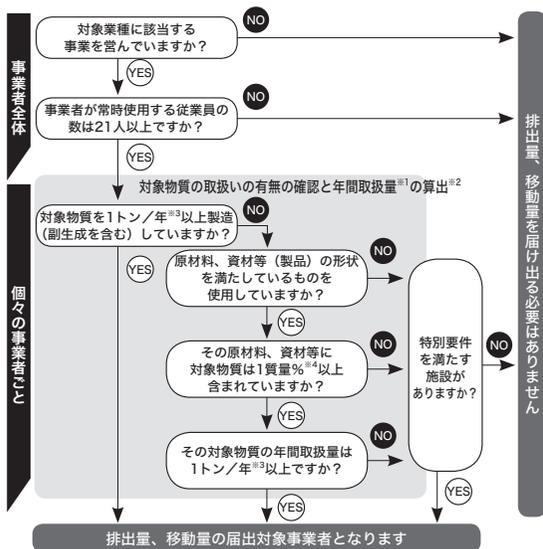
対象化学物質の排出量・移動量を届け出なければならない事業者（第一種指定化学物質等取扱事業者）は、次の表の(1)と(2-1)を満たす事業者、または(1)と(2-2)を満たす事業者です。

表6 届出対象事業者の判定時のチェック項目

(1) 事業者の業種、常時使用する従業員の数		
1) 業種	出版・印刷・同関連産業、プラスチック製品製造業等24業種	
2) 常時使用する従業員の数	21人以上	
(2-1) 事業所ごとの対象物質の年間取扱量		
対象物質の種類	特定第一種	第一種
3) 使用する原材料、資材等の形状	「年間取扱量を把握する際に対象とする製品」に示す形状	
4) 使用する原材料、資材等に含まれる対象物質の含有率	0.1質量%以上	1質量%以上
5) 対象物質の年間取扱量	0.5トン/年以上	1トン/年以上
(2-2) 事業所ごとの特別要件施設		
6) 特別要件の施設	「特別要件施設」に示す施設を有する	

環境省 PRTR インフォメーション広場より抜粋
(<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/target.html>)

図4 対象事業者判別フロー



- ※1) 年間取扱量とは、年度1年間（年度初め4月～年度末3月）の取扱量を意味します
- ※2) 本フロー図では、届出対象事業者の判定用に対象物質の年間取扱量の算出方法を簡略化して示しております。詳細な算出方法は「PRTR 排出量等算出マニュアル」(https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/sansyutsu/2_1.pdf)を参照して下さい。
- ※3) 政令で定める特定第一種指定化学物質は0.5トン/年
- ※4) 政令で定める特定第一種指定化学物質は0.1質量%

【補足】

- 補足1：対象化学物質及び対象業種について
<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/target/hosoku1.html>
- 補足2：年間取扱量を把握する際に対象とする製品について
<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/target/hosoku2.html>
- 補足3：特別要件施設について
<https://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/target/hosoku3.html>

環境省 PRTR インフォメーション広場より抜粋
(<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/target.html>)

※(注)PRTR制度の届出対象となる事業者が届出をしなかったり、または虚偽の届出をした場合には、罰則として20万円以下の過料が課されます。

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業所	事業所の名称	所在地	業種	大気排出量 (kg)
1	大倉工業(株)	丸亀第四工場	丸亀市	プラ製造	470,000
2	三和工業(株)	満濃工場	仲多度郡まんのう町	プラ製造	360,000
3	(株)寺岡製作所	佐野工場	佐野市	プラ製造	340,000
4	大三紙業(株)	本社	豊橋市	出版・印刷	270,000
5	共同技研化学(株)	富岡工場	富岡市	プラ製造	260,000
6	ゼネラル(株)	滋賀工場	甲賀市	プラ製造	250,000
7	コスモテック(株)	コスモテック(株)	善通寺市	出版・印刷	200,000
8	丸東産業(株)	福岡工場	小郡市	プラ製造	200,000
9	大阪シーリング印刷(株)	門司工場	北九州市門司区	出版・印刷	180,000
10	日東電工(株)	豊橋事業所	豊橋市	プラ製造	170,000
11	極東高分子(株)	極東高分子(株)	小樽市	プラ製造	170,000
12	朋和産業(株)	千潟工場	旭市	出版・印刷	170,000
13	大成ラミック(株)	本社・白岡第1工場	白岡市	プラ製造	160,000
14	フジ化成工業(株)	本社工場断熱材事業部	西伯郡伯耆町	プラ製造	160,000
15	大成ラミック(株)	白岡第2工場	白岡市	プラ製造	150,000
16	朋和産業(株)	福岡工場	古賀市	出版・印刷	150,000
17	紀和化学工業(株)	貴志川工場	紀の川市	プラ製造	150,000
18	(株)精工	つくば工場	土浦市	プラ製造	140,000
19	(株)メイワボックス	葦崎工場	葦崎市	出版・印刷	140,000
20	(株)サンエー化研	袋井工場	袋井市	プラ製造	140,000
21	(株)精工	高知工場	南国市	プラ製造	140,000
22	東タイ(株)	富士川工場	南巨摩郡南部町	出版・印刷	130,000
23	(株)彫刻プラスト	静岡工場	島田市	出版・印刷	130,000
24	藤森工業(株)	掛川事業所	掛川市	プラ製造	120,000
25	京阪セロファン(株)	北海道工場	岩見沢市	出版・印刷	110,000
26	(株)丸本	福岡工場	飯塚市	出版・印刷	110,000
27	参共化成工業(株)	参共化成工業(株)	富士市	プラ製造	110,000
28	(株)北四国グラビア印刷	本社工場	観音寺市	出版・印刷	110,000
29	檜山工業(株)	金砂事業所	常陸太田市	プラ製造	98,000
30	福助工業(株)	本社工場	四国中央市	プラ製造	92,000
31	(株)巧芸社	福岡工場	福岡市博多区	出版・印刷	90,000
32	大分福助(株)	大分福助(株)	大分市	プラ製造	90,000
33	日本マタイ(株)	埼玉工場	久喜市	プラ製造	90,000
34	日本マタイ(株)	兵庫工場	加古郡稲美町	プラ製造	89,000
35	日立化成オートモーティブプロダクツ(株)	日立化成オートモーティブプロダクツ(株)	田川市	プラ製造	86,000
36	中本ボックス(株)	埼玉工場	鴻巣市	出版・印刷	85,000
37	(株)共和	大阪第三工場	大阪市西成区	プラ製造	85,000
38	ユニ工業(株)	栃木工場	下都賀郡壬生町	プラ製造	84,000
39	富士尾産業(株)	フジオ GPF	岡山市南区	出版・印刷	84,000
40	(株)マルカワ	富士工場	富士市	出版・印刷	83,000
41	中本ボックス(株)	名張工場	名張市	出版・印刷	83,000
42	京阪セロファン(株)	つくば工場	牛久市	プラ製造	81,000
43	水菱プラスチック(株)	本社工場	倉敷市	プラ製造	81,000
44	(株)DNP テクノバック	泉崎工場	西白河郡泉崎村	出版・印刷	79,000
45	西日本バック(株)	本社工場	観音寺市	出版・印刷	79,000
46	(株)フジコー	まんのう工場	仲多度郡まんのう町	出版・印刷	76,000
47	(株)トーツヤ・エコー	埼玉工場	戸田市	出版・印刷	75,000
48	島根中井工業(株)	第一工場	益田市	プラ製造	75,000
49	川西塗装(株)	明海西工場	豊橋市	プラ製造	74,000
50	ダイキョーニシカワ(株)	八本松工場	東広島市	プラ製造	71,000
51	(株)ツジアン	大村事業所	大村市	プラ製造	71,000
52	川西塗装(株)	明海東工場	豊橋市	プラ製造	70,000

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
53	尾池イメージング(株)	尾池イメージング(株)	倉吉市	プラ製造	69,000
54	土居福助(株)	土居福助(株)	四国中央市	プラ製造	67,000
55	藤森工業(株)	名張事業所	名張市	プラ製造	65,000
56	(株)熊谷	岩室工場	新潟市西蒲区	プラ製造	64,000
57	(株)精工	宮城工場	加美郡加美町	プラ製造	62,000
58	淀川加工印刷(株)	淀川加工印刷本社工場	尼崎市	出版・印刷	62,000
59	新居浜福助(株)	新居浜福助(株)	新居浜市	プラ製造	62,000
60	大化工業(株)	関東工場	笠間市	プラ製造	62,000
61	(株)メタルカラー	福知山工場	福知山市	出版・印刷	61,000
62	関川福助(株)	関川福助(株)	四国中央市	プラ製造	61,000
63	(株)東京ポリエチレン印刷社	埼玉工場	熊谷市	出版・印刷	60,000
64	(株)有沢製作所	南本町工場	上越市	プラ製造	59,000
65	山田紙業(株)	本社工場	京都市南区	出版・印刷	59,000
66	大成ラミック(株)	白岡第3工場	白岡市	プラ製造	58,000
67	日本フィルム(株)	日本フィルム(株)	大分市	プラ製造	58,000
68	中本パックス(株)	柏原工場	柏原市	出版・印刷	57,000
69	リユーセロ(株)	工場	糸満市	プラ製造	57,000
70	(株)共和	熊本工場	阿蘇郡西原村	プラ製造	56,000
71	スタープラスチック工業(株)	小野工場	小野市	プラ製造	56,000
72	(有)アイプロ	(有)アイプロ	伊賀市	出版・印刷	54,000
73	相互印刷(株)	兵庫工場	丹波篠山市	出版・印刷	54,000
74	(株)肥後ポリエチレン	本社工場	熊本市南区	プラ製造	54,000
75	大東プリント工業(株)	本社古河工場	古河市	出版・印刷	53,000
76	津田工業(株)	滑川工場	比企郡滑川町	プラ製造	53,000
77	水菱プラスチック(株)	吉備工場	総社市	プラ製造	53,000
78	(株)福一屋	(株)福一屋	福島市	出版・印刷	52,000
79	(株)巧芸社	東京工場	入間市	出版・印刷	52,000
80	ナイテック工業(株)	甲賀工場	甲賀市	出版・印刷	51,000
81	丸善工業(株)	綾南工場	綾歌郡綾川町	プラ製造	51,000
82	(株)DNPテクノパック	田辺工場	京田辺市	出版・印刷	51,000
83	日新シール工業(株)	日新シール工業(株)	堺市美原区	出版・印刷	50,000
84	リンテック(株)	吾妻工場	吾妻郡東吾妻町	プラ製造	48,000
85	北上産業(株)	北上産業(株)	さいたま市岩槻区	プラ製造	48,000
86	住化積水フィルム(株)	出水工場	出水市	プラ製造	48,000
87	ミツワ(株)ホクト事業部	豊田工場	磐田市	プラ製造	48,000
88	(株)マルカワ	本社工場	四国中央市	出版・印刷	48,000
89	フクレックス(株)	フクレックス(株)	児玉郡美里町	プラ製造	47,000
90	(株)吉野工業所	宇都宮工場	芳賀郡芳賀町	プラ製造	47,000
91	恵和(株)	和歌山テクノセンター	日高郡印南町	プラ製造	47,000
92	三泉化成(株)	九州工場	鞍手郡小竹町	プラ製造	47,000
93	藤森工業(株)	沼田事業所	沼田市	プラ製造	46,000
94	(株)オークラプロダクツ	本社工場	仲多度郡まんのう町	プラ製造	46,000
95	京昶パッケージ(株)	吉川工場	吉川市	出版・印刷	45,000
96	(株)テクノフローン	神戸工場	神戸市兵庫区	プラ製造	45,000
97	(株)メタルカラー	三和工場	福知山市	出版・印刷	44,000
98	笹徳印刷(株)	笹徳印刷(株) 軟包装工場	一宮市	出版・印刷	43,000
99	日本フィルム工業(株)	岡山工場	美作市	プラ製造	42,000
100	大東印刷(株)	本店	札幌市西区	出版・印刷	42,000
101	(株)埼玉オークラ	本社	東松山市	プラ製造	42,000
102	川西塗装(株)	明海北工場	豊橋市	プラ製造	41,000
103	(株)ニューローター	(株)ニューローター	門真市	出版・印刷	41,000
104	(株)日商グラビア	(株)日商グラビア	八千代市	出版・印刷	40,000

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
105	共同グラフィヤ印刷(株)	埋田工場	津島市	出版・印刷	40,000
106	まつやセロファン(株)	本社工場	東広島市	プラ製造	39,000
107	商業印刷(株)	小田原工場	小田原市	出版・印刷	38,000
108	芙蓉化成(株)	芙蓉化成(株)	富士市	出版・印刷	38,000
109	(株)タカギセイコー	浜松工場	浜松市浜北区	プラ製造	38,000
110	帝人コードレ(株)	島根工場	大田市	プラ製造	38,000
111	(株)マルミヤ産業	新潟工場	妙高市	出版・印刷	38,000
112	野崎印刷紙業(株)	新潟工場	新潟市南区	出版・印刷	37,000
113	(株)ダイコー	羽曳野本社工場	羽曳野市	出版・印刷	36,000
114	リンテック(株)	千葉工場	匝瑳市	プラ製造	35,000
115	ダイニツク(株)	王子工場	北区	出版・印刷	35,000
116	長野三和ポリエチレン(株)	長野三和ポリエチレン(株)	長野市	プラ製造	35,000
117	(株)九州イノアック	行橋工場	行橋市	プラ製造	33,000
118	中本パックス(株)	竜ヶ崎工場	龍ヶ崎市	出版・印刷	32,000
119	アキレス(株)	足利第一工場	足利市	プラ製造	32,000
120	藤森工業(株)	昭和事業所	利根郡昭和村	プラ製造	32,000
121	(株)メイワパックス	八代工場	八代市	プラ製造	32,000
122	(株)PKC	本社工場	養老郡養老町	出版・印刷	31,000
123	三恵(株)	竜洋工場	磐田市	プラ製造	31,000
124	フジモリプラケミカル(株)	名張工場	名張市	出版・印刷	31,000
125	(株)DNPテクノパック	筑後	筑後市	出版・印刷	31,000
126	東京加工紙(株)	筑波工場	牛久市	出版・印刷	30,000
127	日東シンコー(株)	本社事業所	坂井市	プラ製造	30,000
128	日榮新化(株)	三重工場	伊賀市	プラ製造	30,000
129	森六テクノロジー(株)	鈴鹿工場	鈴鹿市	プラ製造	30,000
130	広島伊丹電機(株)	広島伊丹電機(株)	東広島市	プラ製造	30,000
131	エヌ・アイ・シー(株)	関東工場	常総市	プラ製造	29,000
132	中本パックス(株)	筑波工場	常総市	出版・印刷	29,000
133	カウパック(株)	カウパック(株)	岩倉市	プラ製造	29,000
134	菅野包装資材(株)	東第3工場	加西市	プラ製造	29,000
135	(株)富士カガク	高瀬工場	三豊市	プラ製造	29,000
136	(株)イノアックコーポレーション	桜井事業所	安城市	プラ製造	29,000
137	上原ネームプレート工業(株)	旭川事業所	旭川市	プラ製造	28,000
138	(株)関東オークラ	大倉工業(株)静岡工場	菊川市	プラ製造	28,000
139	(株)サンエー化研	掛川工場	掛川市	プラ製造	28,000
140	サンアイパック(株)	仙台工場	柴田郡柴田町	プラ製造	28,000
141	(株)フジコー	本社工場	丸亀市	出版・印刷	28,000
142	(株)新和	川口印刷工場	川口市	出版・印刷	27,000
143	トリニティ工業(株)	豊田工場	豊田市	プラ製造	26,000
144	森六テクノロジー(株)	関東工場	太田市	プラ製造	26,000
145	(株)DNPテクノパック	狭山第1工場	狭山市	出版・印刷	26,000
146	真丸特殊紙業(株)	江南工場	江南市	出版・印刷	26,000
147	(株)ボンパック	栃木工場	下都賀郡壬生町	プラ製造	25,000
148	佐川印刷(株)	日野工場	蒲生郡日野町	出版・印刷	25,000
149	三井化学東セロ(株)	浜松工場	浜松市浜北区	プラ製造	24,000
150	フジボウ愛媛(株)	壬生川工場	西条市	プラ製造	24,000
151	東北紙工(株)	高清水工場	栗原市	出版・印刷	24,000
152	埼玉プラスチック(株)	羽生工場	羽生市	プラ製造	23,000
153	(株)熊谷	京ヶ瀬工場	阿賀野市	プラ製造	23,000
154	日本包装印刷(株)	新潟工場	新潟市東区	プラ製造	23,000
155	和信化学工業(株)	生産本部 駒ヶ根工場	駒ヶ根市	プラ製造	23,000
156	須田産業(株)	竜洋工場	磐田市	出版・印刷	23,000

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
157	(株)ダイドー	本社工場	生駒市	出版・印刷	23,000
158	技研(株)	河北工場	西村山郡河北町	プラ製造	23,000
159	三洋グラビア(株)	本社/ウイングファクトリー	伊那市	出版・印刷	23,000
160	(株)トッパンパッケージプロダクツ	深谷工場	深谷市	出版・印刷	22,000
161	トーホー加工(株)	小山工場	小山市	出版・印刷	21,000
162	IMS テクノ(株)	IMS テクノ(株)	安八郡神戸町	プラ製造	21,000
163	(株)サンエー化研	掛川工場 WEST	掛川市	プラ製造	21,000
164	ジェイフィルム(株)	成田工場	香取市	プラ製造	21,000
165	(株)シナノポリ	(株)シナノポリ	長野市	出版・印刷	21,000
166	ジェイフィルム(株)	静岡工場	牧之原市	プラ製造	21,000
167	ダイニツク(株)	真岡工場	真岡市	出版・印刷	20,000
168	津田工業(株)	東松山工場	東松山市	プラ製造	20,000
169	佐藤産業(株)	成東工場	山武市	プラ製造	20,000
170	(株)生産日本社	生産本部浜松工場	浜松市中区	プラ製造	20,000
171	豊田合成(株)	稲沢工場	稲沢市	プラ製造	20,000
172	ホクレン包材(株)	妹背牛工場	雨竜郡妹背牛町	プラ製造	20,000
173	(株)セイユウ	(株)セイユウ	八潮市	出版・印刷	20,000
174	(株)DNP テクノパック	東海工場	中津川市	出版・印刷	20,000
175	大協樹脂(株)	茨城工場	鉾田市	出版・印刷	19,000
176	内外カーボンインキ(株)	宇治田原工場	綴喜郡宇治田原町	プラ製造	19,000
177	(株)九州オークラ	パッケージ工場	熊本市北区	プラ製造	19,000
178	常盤化工(株)	常盤化工(株)	仙台市若林区	出版・印刷	18,000
179	三井化学東セロ(株)	茨城工場	古河市	プラ製造	18,000
180	(株)トーショー	本社工場	流山市	出版・印刷	18,000
181	スズキグラビア(株)	スズキグラビア(株)	藤枝市	出版・印刷	18,000
182	ヒル・プリント(株)	名古屋工場	海部郡大治町	プラ製造	18,000
183	豊田合成(株)	尾西工場	一宮市	プラ製造	18,000
184	藤森工業(株)	三重事業所	名張市	プラ製造	18,000
185	積水化学工業(株)	多賀工場	犬上郡多賀町	プラ製造	18,000
186	三和工業(株)	椿谷工場	仲多度郡まんのう町	プラ製造	18,000
187	(株)テクノフローワン	館林工場	館林市	出版・印刷	18,000
188	ダイキョーニシカワ(株)	大和工場	三原市	プラ製造	18,000
189	(株)トッパンパッケージプロダクツ	群馬センター工場	邑楽郡明和町	出版・印刷	17,000
190	(株)DNP テクノパック	軟包装製造本部札幌工場	札幌市東区	出版・印刷	17,000
191	(株)キングパッケージ	本社・川口第一工場	川口市	プラ製造	17,000
192	(株)マルアイ	生産本部化成成品工場	西八代郡市川三郷町	出版・印刷	17,000
193	(株)サンコー商事	本社工場	大阪市淀川区	出版・印刷	17,000
194	スカイフィルム(株)	福島第一工場	須賀川市	プラ製造	16,000
195	日立化成(株)	下館事業所（五所宮）	筑西市	プラ製造	16,000
196	(株)林産業	ひたちなか工場	ひたちなか市	プラ製造	16,000
197	龍田化学(株)	古河工場	古河市	プラ製造	16,000
198	津田工業(株)	川里工場	鴻巣市	プラ製造	16,000
199	住化積水フィルム(株)	名古屋工場	知多郡東浦町	プラ製造	16,000
200	(株)ダイニチ	本社工場	愛知郡愛荘町	プラ製造	16,000
201	三菱ケミカル(株)	滋賀事業所	米原市	プラ製造	16,000
202	日本シール工業(株)	兵庫出石工場	豊岡市	出版・印刷	16,000
203	真丸特殊紙業(株)	新潟工場	阿賀野市	出版・印刷	16,000
204	尾池アドバンストフィルム(株)	京都事業場	京都市南区	プラ製造	16,000
205	ポリタイ化学(株)	ポリタイ化学(株)	羽曳野市	プラ製造	16,000
206	池田福助(株)	池田福助(株)	三好市	プラ製造	16,000
207	(株)ケイ・エムアクト	本社工場	一関市	プラ製造	15,000
208	スリーエムジャパンプロダクツ(株)	岩手事業所	北上市	プラ製造	15,000

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
209	三光アルミ(株)	三光アルミ(株)	鴻巣市	出版・印刷	15,000
210	東包印刷(株)	埼玉工場	吉川市	出版・印刷	15,000
211	(株)日本包装	(株)日本包装	岡山市南区	プラ製造	15,000
212	関西化学工業(株)	本社工場	善通寺市	プラ製造	15,000
213	益山商工(株)	本社工場	都城市	プラ製造	15,000
214	東北容器工業(株)	化成品工場	八戸市	プラ製造	15,000
215	(株)山二化工所	本社工場	富山市	出版・印刷	15,000
216	タキロンシーアイ(株)	滋賀工場	湖南市	プラ製造	15,000
217	東包印刷(株)	平成埼玉工場	北葛飾郡松伏町	出版・印刷	14,000
218	中京化学(株)	中京化学(株)	稲沢市	出版・印刷	14,000
219	ジェイフィルム(株)	成田第二工場	香取市	プラ製造	14,000
220	(株)関西オークラ	(株)関西オークラ	東近江市	プラ製造	14,000
221	ニッカ化成(株)	ニッカ化成(株)	久留米市	プラ製造	14,000
222	興亜産業(株)	鶴ヶ島工場	日高市	出版・印刷	13,000
223	大日本パッケージ(株)	本社工場	越谷市	出版・印刷	13,000
224	(株)新村	真田工場	上田市	プラ製造	13,000
225	ヘリオグラフィ印刷(株)	ヘリオグラフィ印刷(株)	大阪市東成区	出版・印刷	13,000
226	大王加工紙工業(株)	兵庫工場	加西市	プラ製造	13,000
227	津田工業(株)	紀の川工場	紀の川市	プラ製造	13,000
228	(株)DNP イメージングコム	岡山工場	岡山市北区	出版・印刷	13,000
229	JNC 開発(株)	製造第2課	水俣市	プラ製造	13,000
230	日本製袋(株)	前橋工場	前橋市	プラ製造	13,000
231	(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ	川口工場	川口市	出版・印刷	13,000
232	東和グラフィ印刷(株)	大和工場	大和市	出版・印刷	13,000
233	(株)ベリーパック	(株)ベリーパック	枚方市	出版・印刷	13,000
234	大宝工業(株)	関東カンパニー 大田原工場	大田原市	プラ製造	12,000
235	(株)コーテック	浦和工場	さいたま市南区	プラ製造	12,000
236	(株)有沢製作所	中田原工場	上越市	プラ製造	12,000
237	ウェストロック(株)	島田工場	島田市	出版・印刷	12,000
238	木戸紙業(株)	生駒工場	生駒市	プラ製造	12,000
239	(株)岡山サカエ理研	(株)岡山サカエ理研	井原市	プラ製造	12,000
240	(株)トッパンパッケージプロダクツ	福岡工場	古賀市	出版・印刷	12,000
241	共栄化工(株)	白河工場	白河市	プラ製造	12,000
242	(株)DNP イメージングコム	狭山工場	狭山市	出版・印刷	12,000
243	宇部フィルム(株)	小野田工場	山陽小野田市	プラ製造	12,000
244	常磐共同印刷(株)	常磐共同印刷(株)	北茨城市	出版・印刷	11,000
245	MCC アドバンスドモールドिंगス(株)	関ヶ原工場	大垣市	プラ製造	11,000
246	新光化成(有)	西脇工場	静岡市駿河区	出版・印刷	11,000
247	(株)きもと	三重第一・第二工場	いなべ市	プラ製造	11,000
248	マレリ(株)	吉見工場	比企郡吉見町	プラ製造	11,000
249	大和グラフィ印刷(株)	南アルプス工場	飯田市	プラ製造	11,000
250	協和電機化学(株)	土岐工場	土岐市	プラ製造	11,000
251	島根中井工業(株)	ナカイテクノ事業所	草津市	プラ製造	11,000
252	弘進ゴム(株)	亶理工場	亶理郡亶理町	プラ製造	10,000
253	ニッターパック(株)	茨城工場	猿島郡五霞町	プラ製造	10,000
254	中井銘鋳(株)	中井銘鋳(株)	大阪市鶴見区	出版・印刷	10,000
255	東亜富士巧業(株)	東亜富士巧業(株)	富士宮市	出版・印刷	10,000
256	北菱化学(株)	北菱化学(株)	石狩市	プラ製造	9,700
257	住化積水フィルム(株)	仙台工場	亶理郡亶理町	プラ製造	9,600
258	(株)サンライト	本社・工場	二本松市	プラ製造	9,600
259	タクセル(株)	栃木工場	栃木市	プラ製造	9,600
260	ニッコーグラフィ印刷(株)	ニッコーグラフィ印刷(株)	東大阪市	出版・印刷	9,600

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
261	イケダ(株)	廿日市工場	廿日市市	出版・印刷	9,600
262	三共ポリエチレン(株)	九州事業所	山鹿市	プラ製造	9,600
263	(株)なかむらポリエチレン	菊池工場	菊池市	プラ製造	9,500
264	(株)トウ・プラス	寺尾工場	秩父市	プラ製造	9,500
265	(株)タカギセイコー	関東工場	邑楽郡明和町	プラ製造	9,400
266	日東電工(株)	関東事業所	深谷市	プラ製造	9,400
267	昭和パックス(株)	防府工場	防府市	プラ製造	9,400
268	朋和産業(株)	習志野工場	船橋市	出版・印刷	9,400
269	共和レザー(株)	天竜第一工場	浜松市南区	プラ製造	9,300
270	フジモリブラケミカル(株)	春日井工場	春日井市	プラ製造	9,200
271	大宝工業(株)	関東カンパニー足利工場	足利市	プラ製造	9,100
272	福泉工業(株)	松原工場	松原市	出版・印刷	9,000
273	(株)カナオカグラビア	埼玉第二工場	鴻巣市	出版・印刷	8,800
274	河村化工(株)	九州工場	豊前市	プラ製造	8,800
275	パナソニック(株)	郡山事業所 本工場	郡山市	プラ製造	8,700
276	東海興業(株)	衣浦工場	半田市	プラ製造	8,700
277	東レフィルム加工(株)	福島工場	岩瀬郡鏡石町	プラ製造	8,600
278	豊田合成九州(株)	北九州工場	北九州市八幡東区	プラ製造	8,600
279	東洋製罐(株)	豊橋工場	豊橋市	プラ製造	8,500
280	フジゲン(株)	大野新田工場	富士市	出版・印刷	8,400
281	カキモト化工(株)	カキモト化工(株)	門真市	出版・印刷	8,400
282	(株)フジックス・トーカイ	(株)フジックス・トーカイ	富士市	出版・印刷	8,400
283	(株)東北イノアック	北上工場	北上市	プラ製造	8,300
284	(株)ナガシマ化学工業	栗源第二工場	香取市	プラ製造	8,200
285	フィルネクスト(株)	京都工場	京都市伏見区	プラ製造	8,200
286	福助工業(株)	ラミネート第一、第二工場	四国中央市	プラ製造	8,200
287	伏見樹脂(株)	伏見樹脂(株)	善通寺市	プラ製造	8,100
288	カンボウプラス(株)	福井工場	鯖江市	プラ製造	8,100
289	本多産業(株)	長崎工場	雲仙市	プラ製造	8,000
290	北一化学(株)	北一化学(株)	小樽市	プラ製造	7,900
291	名神化学(株)	名神化学(株)	甲賀市	出版・印刷	7,900
292	トーケミ加工(有)	成田工場	香取郡多古町	出版・印刷	7,700
293	共同印刷(株)	包装事業部守谷工場	守谷市	出版・印刷	7,600
294	太平化学製品(株)	草加工場	草加市	プラ製造	7,500
295	ダイキョーニシカフ(株)	中関第1工場	防府市	プラ製造	7,400
296	大化工業(株)	春日工場	枚方市	プラ製造	7,300
297	大阪シーリング印刷(株)	岡山工場	岡山市南区	出版・印刷	7,300
298	日糖産業(株)	日糖産業(株)	北九州市門司区	プラ製造	7,000
299	(株)サンパックス	本社工場	帯広市	プラ製造	6,900
300	野崎印刷紙業(株)	関東工場	鴻巣市	出版・印刷	6,900
301	(株)DNP 高機能マテリアル	戸畑工場	北九州市戸畑区	プラ製造	6,900
302	(株)阿蘇ポリ	本社	阿蘇市	出版・印刷	6,900
303	(株)マグエックス	つくば工場	常総市	プラ製造	6,700
304	精英堂印刷(株)	精英堂印刷(株)	米沢市	出版・印刷	6,600
305	東邦樹脂工業(株)	本社工場	下都賀郡野木町	プラ製造	6,600
306	トーホー化工(株)	トーホー化工(株)	安城市	プラ製造	6,600
307	(株)高野工業	白河工場	西白河郡中島村	プラ製造	6,500
308	(株)ユニークテープ	新地工場	相馬郡新地町	プラ製造	6,400
309	(株)スミロン	和歌山工場	日高郡日高川町	プラ製造	6,400
310	サヌキ印刷(株)	本社工場	丸亀市	出版・印刷	6,400
311	(株)寺岡製作所	茨城工場	北茨城市	プラ製造	6,300
312	(有)藤包材	笹目事業地	戸田市	出版・印刷	6,300

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
313	中川製袋化工(株)	大竹工場	大竹市	プラ製造	6,300
314	(株)マルアイ	生産本部半導体関連生産	西八代郡市川三郷町	出版・印刷	6,300
315	九州プラスチック工業(株)	九州プラスチック工業(株)	玉名市	プラ製造	6,200
316	ニチアスウレタン(株)	埼玉工場	羽生市	プラ製造	6,000
317	藤森工業(株)	横浜事業所	横浜市金沢区	プラ製造	6,000
318	共和レザー(株)	天竜第2工場	浜松市南区	プラ製造	6,000
319	スリーエム ジャパン プロダクツ(株)	山形事業所	東根市	プラ製造	5,900
320	日立化成オートモーティブプロダクツ(株)	関東事業所	筑西市	プラ製造	5,900
321	合同化成(株)	グラビア加工部	小樽市	出版・印刷	5,700
322	丸王印刷(株)	本社工場	福岡市博多区	出版・印刷	5,700
323	オカモト(株)	静岡工場	榛原郡吉田町	プラ製造	5,700
324	アキレス(株)	足利第二工場	足利市	プラ製造	5,500
325	天馬(株)	滋賀工場	甲賀市	プラ製造	5,500
326	MCCアドバンスドモールディングス(株)	浅井工場	長浜市	プラ製造	5,500
327	アスパック(株)	本社工場	金沢市	出版・印刷	5,300
328	グンゼ包装システム(株)	守山工場	守山市	出版・印刷	5,300
329	(株)SHOEI	茨城工場	稲敷市	プラ製造	5,200
330	日本タック工業(株)	日本タック工業(株)	坂戸市	プラ製造	5,200
331	(株)タカギセイコー	新湊工場	射水市	プラ製造	5,200
332	(株)佐賀 LIXIL 製作所	佐賀工場	多久市	プラ製造	5,200
333	(株)千代田グラビア	潮来第三工場	潮来市	出版・印刷	5,100
334	丸喜化学工業(株)	白井工場	白井市	プラ製造	5,100
335	東レ・デュポン(株)	東海事業場	東海市	プラ製造	5,000
336	日本マタイ(株)	滋賀工場	守山市	プラ製造	5,000
337	中神自動車工業(株)	田布施工場	熊毛郡田布施町	プラ製造	4,900
338	美光産業(株)	本社工場	藤枝市	プラ製造	4,800
339	丸真化学工業(株)	本社工場	豊岡市	プラ製造	4,800
340	音羽印刷(株)	狭山工場	狭山市	出版・印刷	4,800
341	寿精版印刷(株)	大阪オフィス・工場	大阪市天王寺区	出版・印刷	4,800
342	三信包装(株)	三信包装(株)	三戸郡南部町	プラ製造	4,700
343	芳生グラビア印刷(株)	本社工場	加西市	出版・印刷	4,700
344	昭北ラミネート工業(株)	本社工場	富山市	出版・印刷	4,500
345	豊田合成九州(株)	福岡工場	宮若市	プラ製造	4,400
346	(株)千代田グラビア	潮来第二工場	潮来市	出版・印刷	4,300
347	東洋クロス(株)	樽井事業所	泉南市	プラ製造	4,300
348	(株)トッパンパッケージプロダクツ	玉名工場	玉名市	出版・印刷	4,300
349	信和工業(株)	埼玉工場	幸手市	出版・印刷	4,300
350	(有)川本化学	第三工場	浅口市	出版・印刷	4,300
351	宮川化成工業(株)	広島事業部	東広島市	プラ製造	4,200
352	リケンテクノス(株)	埼玉工場	深谷市	プラ製造	4,200
353	ムトー精工(株)	テクニカルセンター	岐阜市	プラ製造	4,200
354	(株)DNP テクノパック	京都工場	京都市右京区	出版・印刷	4,200
355	(株)シーケン	(株)シーケン	羽曳野市	プラ製造	4,200
356	やまと真空工業(株)	やまと真空工業(株)	香芝市	プラ製造	4,100
357	(株)ナカヤマ	白坂事業所化成部	恵那市	プラ製造	4,100
358	みつや工業(株)	綾南工場	綾歌郡綾川町	プラ製造	4,000
359	大分ドライループ(株)	大分ドライループ(株)	中津市	プラ製造	4,000
360	(株)LIXIL	LWTJAPAN 浴室事業部浴室製造部筑波工場	つくば市	プラ製造	4,000
361	富士合成(株)	結城工場	結城市	プラ製造	4,000
362	タキロンシーアイシビル(株)	八日市工場	東近江市	プラ製造	4,000
363	日大グラビア(株)	本社工場	大東市	出版・印刷	4,000
364	共和ライフテクノ(株)	鳴門工場	鳴門市	プラ製造	4,000

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
365	大日本パッケージ(株)	埼玉工場	北葛飾郡松伏町	出版・印刷	3,900
366	(株)ラインプラスチック	本社	川崎市高津区	プラ製造	3,900
367	(株)麗光	栗東工場	栗東市	プラ製造	3,900
368	大建加工(株)	本社	京都市右京区	出版・印刷	3,900
369	ダイナパック(株)	蟹江事業所	海部郡蟹江町	出版・印刷	3,800
370	ナベプロセス(株)	ナベプロセス(株)	高松市	出版・印刷	3,800
371	(株)きもと	茨城工場	古河市	プラ製造	3,700
372	北海道サンプラス(株)	石狩工場	石狩市	プラ製造	3,700
373	住化積水フィルム(株)	足利工場	足利市	プラ製造	3,700
374	(株)エティックテクノ大阪	大阪工場	尼崎市	プラ製造	3,700
375	光洋産業(株)	栃木工場	栃木市	プラ製造	3,600
376	(株)タカギセイコー	福光工場	南砺市	プラ製造	3,600
377	日生化学(株)	本社工場	東かがわ市	プラ製造	3,600
378	(株)九州イノアック	菊池工場	菊池市	プラ製造	3,600
379	三王ポリ(株)	函館工場	函館市	プラ製造	3,600
380	旭化学工業(株)	本社工場	大東市	出版・印刷	3,600
381	興亜エー・シー・エル(株)	興亜エー・シー・エル(株)	江戸川区	出版・印刷	3,500
382	(株)佐伯紙工所	白岡工場	白岡市	出版・印刷	3,400
383	(株)イノベックス	古河工場	古河市	プラ製造	3,400
384	サカイ・コンポジット(株)	御請工場	島田市	プラ製造	3,400
385	(株)サンエー化研	奈良工場	天理市	プラ製造	3,400
386	大日本ホイル(株)	本社	上野原市	出版・印刷	3,300
387	ワコー化成(株)	第3工場	不破郡垂井町	プラ製造	3,300
388	菅野包装資材(株)	本社・工場	加西市	プラ製造	3,300
389	協和化工(株)	本社工場	堺市西区	プラ製造	3,200
390	東名化学工業(株)	小牧工場グラビアセクション	小牧市	プラ製造	3,100
391	(株)LIXIL	上野緑工場	伊賀市	プラ製造	3,100
392	(株)トリネックス	長浜工場	長浜市	出版・印刷	3,100
393	日本パッケージング(株)	日本パッケージング(株)	幸手市	出版・印刷	3,100
394	日泉ポリテック(株)	本社工場	大洲市	プラ製造	3,100
395	共伸プラスチック(株)	福島工場	二本松市	プラ製造	3,000
396	日立化成(株)	下館事業所（下館）	筑西市	プラ製造	3,000
397	中川製袋化工(株)	長浜工場	長浜市	プラ製造	3,000
398	共和工業(株)	本社工場	綴喜郡宇治田原町	プラ製造	3,000
399	(株)新生	(株)新生	八尾市	出版・印刷	3,000
400	寿精版印刷(株)	高井田オフィス・工場	東大阪市	出版・印刷	3,000
401	尾池ファインコーティング(株)	尾池ファインコーティング(株)	倉吉市	プラ製造	3,000
402	東洋包材(株)	筑波事業所	つくばみらい市	出版・印刷	2,900
403	東洋新虹(株)	長岡工場	伊豆の国市	プラ製造	2,900
404	中外製紐(株)	開明工場	一宮市	プラ製造	2,900
405	(株)トッパンコミュニケーションプロダクツ	嵐山工場	比企郡嵐山町	出版・印刷	2,900
406	朋和産業(株)	京都工場	綴喜郡宇治田原町	出版・印刷	2,900
407	共和レザー(株)	浅羽工場	袋井市	プラ製造	2,800
408	(株)メイワボックス	兵庫工場	豊岡市	出版・印刷	2,800
409	大石産業(株)	鞍手工場フィルム製造課	鞍手郡鞍手町	プラ製造	2,800
410	富双合成(株)	米沢工場	米沢市	プラ製造	2,700
411	(株)千代田グラビヤ	潮来第一工場	潮来市	出版・印刷	2,700
412	高圧化工(株)	千葉工場	旭市	プラ製造	2,700
413	積水化学工業(株)	滋賀栗東工場	栗東市	プラ製造	2,700
414	関西チューブ(株)	本社工場	東大阪市	プラ製造	2,700
415	東和化工(株)	三重工場	津市	プラ製造	2,600
416	ユニチカスパークライト(株)	日吉工場	南丹市	プラ製造	2,600

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
417	(株)メイワボックス	本社工場	柏原市	プラ製造	2,500
418	(株)水野グラビア印刷	本社工場	姫路市	出版・印刷	2,500
419	東洋平成ポリマー(株)	高知工場	高知市	プラ製造	2,500
420	(株)松本美術紙化工業所	(株)松本美術紙化工業所	大阪市東成区	出版・印刷	2,500
421	大栄工業(株)	本社工場	三養基郡みやき町	プラ製造	2,500
422	(株)DNP生活空間	東京工場	入間郡三芳町	出版・印刷	2,400
423	栄和化工(株)	戸ヶ崎工場	三郷市	プラ製造	2,400
424	日清紡メカトロニクス(株)	美合工機事業所	岡崎市	プラ製造	2,400
425	日東電工(株)	尾道事業所	尾道市	プラ製造	2,400
426	(株)細川洋行	生産本部群馬藤岡工場	藤岡市	出版・印刷	2,400
427	東洋加工(株)	美里工場	児玉郡美里町	プラ製造	2,400
428	ハッポー化学工業(株)	本社工場	越前市	プラ製造	2,400
429	タカラ化成工業(株)	タカラ化成工業(株)	西尾市	プラ製造	2,400
430	トリニティ工業(株)	三好工場	みよし市	プラ製造	2,400
431	(株)ダイソー	川越工場	川越市	出版・印刷	2,300
432	マキノ化学工業(株)	マキノ化学工業(株)	高島市	プラ製造	2,200
433	共和レザー(株)	新城工場	新城市	プラ製造	2,200
434	イビデン樹脂(株)	本社工場	揖斐郡池田町	プラ製造	2,100
435	(株)ブリヂストン	磐田工場	磐田市	プラ製造	2,100
436	富士特殊紙業(株)	本社工場	瀬戸市	出版・印刷	2,100
437	第一化成(株)	群馬工場	邑楽郡邑楽町	プラ製造	2,000
438	ナベプロセス(株)	東京支社	柏市	出版・印刷	2,000
439	高桑美術印刷(株)	川北事業部	能美郡川北町	出版・印刷	2,000
440	日本発条(株)	産機生産本部駒ヶ根工場	駒ヶ根市	プラ製造	2,000
441	(株)イケックス工業	第2工場	春日井市	プラ製造	2,000
442	(株)メタルカラー	(株)メタルカラー	東大阪市	出版・印刷	2,000
443	(株)ダイセル	マルチプロダクションカバニー神崎工場	尼崎市	プラ製造	2,000
444	ニッパ(株)	兵庫東条工場	加東市	プラ製造	1,900
445	(株)モルテン	防府工場	防府市	プラ製造	1,900
446	大分パーカラライジング(株)	安岐工場	国東市	プラ製造	1,900
447	(株)多連堂	(株)多連堂	川越市	出版・印刷	1,800
448	エースパック(株)	エースパック(株)	座間市	プラ製造	1,800
449	三和化工(株)	兵庫工場	朝来市	プラ製造	1,800
450	(株)トリネックス	辰野工場	上伊那郡辰野町	出版・印刷	1,800
451	淀川真空(株)	本社工場	生駒郡安堵町	プラ製造	1,800
452	加美電子工業(株)	本社工場	加美郡加美町	プラ製造	1,700
453	パナソニック(株)	郡山事業所 西工場	郡山市	プラ製造	1,700
454	日泉ポリテック(株)	千葉工場	木更津市	プラ製造	1,700
455	(株)トリネックス	大野工場	大野市	出版・印刷	1,700
456	パナック(株)	富士宮工場	富士宮市	プラ製造	1,700
457	豊田合成(株)	田原工場	田原市	プラ製造	1,700
458	(株)トップパッケージプロダクツ	幸手工場	幸手市	出版・印刷	1,700
459	淀川加工印刷(株)	淀川加工印刷コスモ工場	尼崎市	出版・印刷	1,600
460	太陽インダストリー(株)	中津新田工場	中津市	プラ製造	1,600
461	(株)トリネックス	白河工場	白河市	出版・印刷	1,600
462	富士合成(株)	栃木工場	栃木市	プラ製造	1,600
463	サカイ・コンポジット(株)	船木工場	島田市	プラ製造	1,600
464	松尾グラビア製版(株)	本社工場	大東市	出版・印刷	1,600
465	エムケイ産業(株)	本社工場	枚方市	プラ製造	1,600
466	(株)ユニオン・グラビア	(株)ユニオン・グラビア	丸亀市	出版・印刷	1,600
467	(株)王子加工所	(株)王子加工所	北区	出版・印刷	1,500
468	日東樹脂工業(株)	横浜工場	横浜市都筑区	プラ製造	1,500

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
469	(株)生産日本社	生産本部浜北工場	浜松市浜北区	プラ製造	1,500
470	河村化工(株)	滋賀工場	東近江市	プラ製造	1,500
471	生田印刷(株)	生田印刷(株)	大阪市東成区	出版・印刷	1,500
472	住友ベークライト(株)	尼崎工場	尼崎市	プラ製造	1,500
473	四国化工(株)	本社工場	東かがわ市	プラ製造	1,500
474	フドー(株)	平塚工場	平塚市	プラ製造	1,500
475	富士ベークライト(株)	芳井工場	井原市	プラ製造	1,500
476	(株)林産業	水戸工場	水戸市	プラ製造	1,400
477	積水樹脂(株)	石川工場	能美市	プラ製造	1,400
478	三井化学東セロ(株)	名古屋工場	名古屋市南区	プラ製造	1,400
479	菱成(株)	菱成(株)	三田市	プラ製造	1,400
480	(株)フォーム化成	本社工場	愛甲郡愛川町	プラ製造	1,400
481	東北サーモ(株)	東北サーモ(株)	福島市	プラ製造	1,300
482	コパテック(株)	コパテック(株)	本宮市	プラ製造	1,300
483	セイワ化成(株)	セイワ化成(株)	不破郡垂井町	プラ製造	1,300
484	(株)クラウン・パッケージ	G7事業部	可児市	出版・印刷	1,300
485	(株)常磐谷沢製作所	茨城工場	北茨城市	プラ製造	1,200
486	共同印刷(株)	ビジネスメディア事業部製造本部(鶴ヶ島工場)	鶴ヶ島市	出版・印刷	1,200
487	(株)日本金属印刷所	船橋工場	船橋市	出版・印刷	1,200
488	ナベプロセス(株)	大阪支社	大東市	出版・印刷	1,200
489	内外精機工業(株)	鳥取工場	東伯郡三朝町	プラ製造	1,200
490	お多福産業(株)	本社工場	徳島市	プラ製造	1,200
491	上六印刷(株)	上六印刷(株)	生駒市	出版・印刷	1,100
492	ナベプロセス(株)	サテライトヒル	木田郡三木町	出版・印刷	1,100
493	大宝工業(株)九州カンパニー	大宝工業(株)九州カンパニー	古賀市	プラ製造	1,100
494	タキロンシーアイ(株)	栃木工場	芳賀郡市貝町	プラ製造	1,100
495	アルピィ東プラ(株)	関東群馬工場	邑楽郡邑楽町	プラ製造	1,100
496	三光ライト工業(株)	埼玉工場	深谷市	プラ製造	1,100
497	(株)アルダイヤ工業	本社工場	名古屋市中区	出版・印刷	1,100
498	大倉工業(株)	丸亀第五工場	丸亀市	プラ製造	1,100
499	名古屋化学工業(株)	名古屋化学工業(株)	日進市	プラ製造	1,000
500	(株)麗光	日野工場	蒲生郡日野町	プラ製造	1,000
501	(株)トリネックス	秋田工場	由利本荘市	出版・印刷	1,000
502	日光精器(株)	滋賀工場	近江八幡市	プラ製造	1,000
503	お多福産業(株)	徳島化成工場	徳島市	プラ製造	990
504	ムネカタ(株)	福島ファクトリー	福島市	プラ製造	990
505	エフピコグラフィア(株)	本社	浅口市	出版・印刷	970
506	豊田合成(株)	瀬戸工場	瀬戸市	プラ製造	950
507	(株)トッパンパッケージプロダクツ	福崎工場	神崎郡福崎町	出版・印刷	940
508	(株)トリネックス	金成工場	栗原市	出版・印刷	920
509	利昌工業(株)	湖南工場	湖南省	プラ製造	920
510	大阪真空化学(株)	本社 第2工場	大阪市平野区	プラ製造	910
511	九州南部化成(株)	大分工場	玖珠郡玖珠町	プラ製造	900
512	厚木プラスチック(株)	関東工場	前橋市	プラ製造	870
513	ダイヤテックス(株)	ダイヤテックス(株)	黒部市	プラ製造	850
514	(株)平野屋物産	鷹取工場	うきは市	出版・印刷	850
515	(株)アーク	富士吉田工場	富士吉田市	プラ製造	840
516	福助工業(株)	ラミネート第三工場	四国中央市	プラ製造	840
517	(株)トッパンパッケージプロダクツ	千歳工場	千歳市	出版・印刷	820
518	小澤塗料工業(株)	大井川工場	焼津市	プラ製造	800
519	(株)チューエツ	富山工場	富山市	出版・印刷	800
520	サイチ工業(株)	栗東守山事業部栗東工場	栗東市	プラ製造	790

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
521	グラント化学(株)	グラント化学(株)	長浜市	プラ製造	770
522	東レ(株)	滋賀事業場	大津市	プラ製造	750
523	(株)ヤマコー	本社工場	豊田市	プラ製造	730
524	(株)彫刻プラスト	大阪工場	寝屋川市	出版・印刷	700
525	稲武高分子(株)	夏焼工場	豊田市	プラ製造	650
526	(株)タカラインコーポレーション	プラスチック事業部生産部門	栗東市	プラ製造	650
527	美光産業(株)	岡部工場	藤枝市	プラ製造	630
528	三菱ケミカルインフラテック(株)	長浜事業所（長浜）	長浜市	プラ製造	630
529	CBC(株)CBC イングスカンパニー	三島工場	三島市	プラ製造	620
530	国上精機工業(株)	新潟事業所	燕市	プラ製造	600
531	日東金属工業(株)	日東金属工業(株)	八尾市	出版・印刷	600
532	金方堂印刷工業(株)	本社工場	川口市	出版・印刷	600
533	(株)中央物産	(株)中央物産	中津川市	プラ製造	580
534	(株)栗本鐵工所	滋賀工場	愛知郡愛荘町	プラ製造	570
535	南部化成(株)	裾野事業所	裾野市	プラ製造	560
536	(株)メイワボックス	飯田工場	下伊那郡高森町	プラ製造	560
537	デンカ(株)	大船工場	鎌倉市	プラ製造	550
538	福山合成(株)	本社工場	福山市	プラ製造	510
539	恵和(株)	滋賀 AF センター	東近江市	プラ製造	500
540	(株)きもと	三重第三・第四工場	いなべ市	プラ製造	490
541	(株)富士カガク	(株)富士カガク	高松市	プラ製造	490
542	昭北ラミネート工業(株)	第2工場	富山市	出版・印刷	480
543	リンテック(株)	新宮事業所新居浜加工所	新居浜市	プラ製造	470
544	アスタック(株)	アスタック(株)	広島市安佐南区	プラ製造	450
545	第一化成(株)	埼玉事業所	行田市	プラ製造	440
546	(株)吉田製作所	CR 工場	常総市	出版・印刷	440
547	DIC デコール(株)	桶川工場	桶川市	出版・印刷	430
548	東京インキ(株)	吉野原工場	さいたま市北区	プラ製造	430
549	太陽包装(株)	ラミネート工場	宮崎市	出版・印刷	430
550	クラフツ(株)	新潟工場	新潟市江南区	出版・印刷	420
551	(株)東京セロレーベル	鯖江工場	鯖江市	出版・印刷	420
552	三共ポリエチレン(株)	広島事業所生産一部印刷課	廿日市市	出版・印刷	420
553	(株)スミロン	三重工場	伊賀市	プラ製造	410
554	積水テクノ成型(株)	愛知工場	豊橋市	プラ製造	400
555	東都金属印刷(株)	東都金属印刷(株)	船橋市	出版・印刷	370
556	北越化成(株)	本社工場	見附市	プラ製造	370
557	東山フィルム(株)	恵那工場	恵那市	プラ製造	360
558	日東電工(株)	滋賀事業所	草津市	プラ製造	360
559	(株)花菱塗装技研工業	新富支店	児湯郡新富町	プラ製造	360
560	東洋ライト(株)	向日町工場	向日市	プラ製造	360
561	北海紙工業(株)	本社工場	小樽市	出版・印刷	350
562	東洋ポリマー(株)	本社工場	燕市	プラ製造	350
563	シューテックオカモト(株)	シューテックオカモト(株)	田村郡小野町	プラ製造	350
564	第一樹脂工業(株)	本社工場	八尾市	プラ製造	340
565	ニッパ(株)	鳥取名和工場	西伯郡大山町	プラ製造	340
566	富士ベークライト(株)	本社工場	小田郡矢掛町	プラ製造	340
567	日本製紙(株)	ケミカル営業本部東松山事業所	東松山市	プラ製造	330
568	ネクサス(株)	ネクサス(株)	玉名郡南関町	プラ製造	300
569	しげる工業(株)	市野倉工場	太田市	プラ製造	300
570	日光化成(株)	滋賀工場	湖南市	プラ製造	300
571	(株)トッパンインフォメディア	相模原工場	相模原市南区	出版・印刷	290
572	(株)ロト・プロセス	(株)ロト・プロセス	磐田市	出版・印刷	290

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
573	彫刻グラビヤ札幌(株)	彫刻グラビヤ札幌(株)	札幌市西区	出版・印刷	280
574	(株)トッパンパッケージプロダクツ	仙台工場	仙台市泉区	出版・印刷	270
575	太平化学製品(株)	川口工場	川口市	プラ製造	270
576	リケンテクノス(株)	群馬工場	太田市	プラ製造	260
577	(株)宮本工業所	(株)宮本工業所	松本市	出版・印刷	260
578	(株)アベックス	第2事業所	八王子市	プラ製造	250
579	凸版印刷(株)	総合研究所	北葛飾郡杉戸町	出版・印刷	250
580	東洋紡フィルムソリューション(株)	宇都宮事業所	宇都宮市	プラ製造	230
581	(株)カナオカグラビア	埼玉第三工場	羽生市	出版・印刷	230
582	(株)DNPテクノパック	横浜工場	横浜市都筑区	出版・印刷	230
583	島根中井工業(株)	第三工場	益田市	プラ製造	220
584	中興化成工業(株)	松浦工場	松浦市	プラ製造	220
585	平紐工業(株)	本社工場	八王子市	プラ製造	220
586	ゼオン化成(株)	茨城工場	坂東市	プラ製造	210
587	東洋製罐(株)	久喜第二工場	久喜市	プラ製造	210
588	エヌエスアドバンテック(株)	小千谷工場	小千谷市	プラ製造	210
589	東洋F P P(株)	川口製造所	川口市	出版・印刷	200
590	TOTO プラテクノ(株)	本社・豊前工場	豊前市	プラ製造	200
591	パナック(株)	亀山工場	亀山市	プラ製造	200
592	協和電機化学(株)	飯能工場	飯能市	プラ製造	190
593	クラボウケミカルワークス(株)	黒瀬事業所	東広島市	プラ製造	190
594	(株)DNP データテクノ	京都工場	京都市南区	出版・印刷	190
595	アジアアルミ(株)	佐野工場	佐野市	プラ製造	170
596	(株)共進プロセス	(株)共進プロセス	武蔵野市	出版・印刷	160
597	共同NPI パッケージ(株)	共同NPI パッケージ(株)	守谷市	出版・印刷	160
598	(株)城北鋳力印刷工業所	関宿工場	野田市	出版・印刷	160
599	フタムラ化学(株)	名古屋工場	海部郡大治町	プラ製造	150
600	(株)フジシール	名張工場	名張市	プラ製造	150
601	(株)東海化成工業所	(株)東海化成工業所	山県市	プラ製造	140
602	大槻工業(株)	大槻工業工場	京都市右京区	出版・印刷	140
603	ヨドヤ包装(株)	総合センター	羽曳野市	出版・印刷	130
604	三船工業(株)	三船工業(株)	東大阪市	出版・印刷	130
605	南デザイン(株)	南デザイン(株)	青梅市	プラ製造	120
606	郡山精器(株)	郡山精器(株)	郡山市	出版・印刷	110
607	明和グラビア(株)	行田工場	行田市	プラ製造	110
608	(株)原ネームプレート製作所	本社工場	あま市	プラ製造	110
609	東洋理工(株)	東洋理工(株)	安城市	プラ製造	100
610	しげる工業(株)	本社工場	太田市	プラ製造	100
611	(株)東京ゼロレーベル	分室工場	京都市右京区	出版・印刷	100
612	(株)フジシール	結城工場	結城市	出版・印刷	84
613	(株)トッパンパッケージプロダクツ	相模原工場	相模原市南区	出版・印刷	79
614	旭化成パックス(株)	上尾市	上尾市	プラ製造	76
615	(株)フジシール	筑波工場	稲敷郡阿見町	出版・印刷	73
616	ヤマハ発動機(株)	蒲郡事業所	蒲郡市	プラ製造	73
617	福島グラビア(株)	福島グラビア(株)	本宮市	出版・印刷	70
618	王子ゴム化成(株)	フレーク樹脂工場	防府市	プラ製造	70
619	(株)サンリッツ	入善工場	下新川郡入善町	プラ製造	69
620	ニック工業(株)	本社	城陽市	プラ製造	67
621	(株)プラストワーク	(株)プラストワーク	町田市	プラ製造	58
622	大倉工業(株)	本社地区	丸亀市	プラ製造	51
623	(株)積水化成製品関東	(株)積水化成製品関東	古河市	プラ製造	49
624	東山フィルム(株)	瑞浪工場	瑞浪市	プラ製造	47

令和2年度 PRTR トルエン大気排出順位一覧（出版・印刷、プラ製造）

注）表中業種のプラ製造とはプラスチック製品製造業、出版・印刷は出版・印刷・同関連産業を表す

順位	届出事業者	事業所	所在地	業種	大気排出量 (kg)
625	(株)パールマネキン	パールデポ関東流通センター	習志野市	プラ製造	34
626	(株)三和スクリーン銘板	本社工場	愛西市	プラ製造	34
627	(株)トッパンプロスプリント	水戸工場	水戸市	出版・印刷	32
628	(株)ボラテクノ	新潟工場	上越市	プラ製造	29
629	中島工業(株)	中島工業(株)	城陽市	プラ製造	24
630	日立化成テクノサービス(株)	下館事業所（五所）	筑西市	プラ製造	23
631	笹徳印刷(株)	本社グラフィア工場	豊明市	出版・印刷	23
632	(株)栗本鐵工所	湖東工場	東近江市	プラ製造	23
633	アキレス(株)	滋賀第一工場	野洲市	プラ製造	15
634	盟和産業(株)	長野工場	下伊那郡阿智村	プラ製造	10
635	(株)きもと	技術開発センター	さいたま市中央区	プラ製造	9
636	三菱ケミカルインフラテック(株)	上田事業所東京製造所	青梅市	プラ製造	7
637	(株)T & T エナテクノ	三重工場	津市	プラ製造	6
638	(株)東洋クオリティワン	川越工場	川越市	プラ製造	6
639	盟和産業(株)	甲府工場	中巨摩郡昭和町	プラ製造	4
640	神崎金属印刷(株)	神崎金属印刷(株)	大阪市淀川区	出版・印刷	3
641	富安金属印刷(株)	広島工場	廿日市市	出版・印刷	3
642	王子エフテックス(株)	滋賀工場	湖南市	プラ製造	2
643	富安金属印刷(株)	大阪工場	枚方市	出版・印刷	2
644	アキレス(株)	滋賀第二工場	犬上郡豊郷町	プラ製造	1
645	東洋ライト(株)	福知山工場	福知山市	プラ製造	1
646	TPR エンプラ(株)	本社工場	高座郡寒川町	プラ製造	1
647	(株)ニッカテクノ	久御山工場	久世郡久御山町	出版・印刷	0
648	(株)ニッカテクノ	本社	京都市南区	プラ製造	0
649	三陸化成(株)	河北工場	石巻市	プラ製造	0
650	三菱ケミカルアグリドリーム(株)	生産・技術部	牛久市	プラ製造	0
651	住友ベークライト(株)	宇都宮工場	宇都宮市	プラ製造	0
652	(株)恵比寿加工	増長工場	さいたま市岩槻区	プラ製造	0
653	三和化工(株)	福井工場	福井市	プラ製造	0
654	(株)テクノフローワン	藤枝工場	藤枝市	プラ製造	0
655	(株)テクノフローワン	藤枝第二工場	藤枝市	プラ製造	0
656	島根中井工業(株)	第二工場	益田市	プラ製造	0
657	関東大協(株)	関東大協(株)	芳賀郡芳賀町	プラ製造	0
658	東成工業(株)	鴻巣工場	鴻巣市	プラ製造	0
659	(株)細川洋行	生産事業部埼玉三芳工場	入間郡三芳町	出版・印刷	0
660	橋本セロファン印刷(株)	東領家工場	川口市	出版・印刷	0
661	橋本セロファン印刷(株)	弥平工場	川口市	出版・印刷	0
662	(株)恵比寿加工	野田はやま工場	野田市	プラ製造	0
663	(株)エス・ケイ・ワイ	(株)エス・ケイ・ワイ	可児市	プラ製造	0

Information

JPI、4月21日にJPIWEBフォーラム「軟包材の環境負荷低減～水性グラフィア印刷による環境負荷低減の効果と課題～」を開催

日本包装技術協会(JPI)は、2022年4月21日(木)午後1時30分～3時まで、JPIWEBフォーラム「軟包材の環境負荷低減～水性グラフィア印刷による環境負荷低減の効果と課題～」を開催する。富士特殊紙業(株)営業本部CS室の鈴木貴史課長を講師に、水性グラフィア印刷の環境負荷低減効果について、LCAの観点から紹介するとともに、大

きなコストを掛けず行える、実効性ある環境負荷低減策などを提案、また、現行水性グラフィア印刷の抱える課題を解決する、次世代の水性グラフィア印刷の開発状況についても紹介する。定員300名。参加費は、会員無料、一般11,000円(1部会、税込)。申込はJPIホームページ(<https://www.jpi.or.jp/>)より登録する。

グラビア研究会 第8回グラビア基礎講座 6月8日にオンライン開催

(一社)日本印刷学会技術委員会グラビア印刷技術研究会は、2022年6月8日(水)午後1時30分～4時30分まで、フィルム(基材)、機械、製版、インキにおける基礎(原理・用語解説)からトラブル対処について勉強する「第8回グラビア基礎講座—グラビア印刷、基礎からトラブル対処まで—」を開催します。今回もZoomによるオンラインセミナーとして、全国どこからでも参加できる企画となっており、入社員はもとより、数年の現場経験者にも適した講演になっています。講演の要旨集はデータ配信します。また、講義中の質疑応答に返答できなかったものは、後日講師が回答を配信します。皆様のご参加をお待ちしております。

グラビア研究会 第8回グラビア基礎講座—グラビア印刷、基礎からトラブル対処まで—

主催：(一社)日本印刷学会 技術委員会 グラビア印刷技術研究会

協賛：関東グラビア協同組合、全国グラビア製版工業会連合会

日時：2022年6月8日(水) 13:30～16:30 (13:00より配信開始)

開催：オンライン開催 (Zoom ウェビナー開催)。受講に必要な準備、方法に関しては、

<http://www.jspst.org/event/pdf/ZoomPreparation.pdf> をご参照ください。

【プログラム】

13:30～13:40 開会の挨拶 / 諸注意 / 包装概要

13:40～14:15 **グラビア印刷時のフィルムの取り扱いに関する留意点**

東洋紡(株) 中谷伊志氏

フィルムの種類や物性から印刷・ラミなどの加工や保管・取扱い時の留意点について説明する。

14:20～14:55 **グラビア印刷機の基礎**

富士機械工業(株) 西村高博氏

グラビア印刷機の基礎知識を得るために、その基本構成と各部の構造、役割および適正テンションについて、設計思想を交えながら説明する。

15:00～15:35 **グラビア製版の基礎**

東洋FPP(株) 松崎徳治氏

グラビアシリンダーができるまでの基礎的な製版工程を説明する。また、製版方式の違いによる印刷物の違いについても解説し、最後に印刷と版とのトラブル事例の紹介をする。

15：40～16：20 **グラフィインキの基礎、印刷時のトラブルシューティング**

サカタインクス(株) 楠本秀樹氏

グラフィインキの組成、および生産方法について、具体的な事例を交えて説明する。また、印刷時の代表的なトラブルに対する対応策について解説する。

16：20～16：30 **質問への対応／閉会の挨拶**

定 員：200名（定員になり次第締切）

申込締切：2022年5月31日（火）

参 加 費：正会員・関東グラフィア協同組合、全国グラフィア製版工業会連合会会員 4,000円
非会員 6,000円

※視聴1名あたりの費用。複数名が同一PC等から参加する場合も、申込者とメールアドレスを同じにして聴講者ごとに人数分申し込む。

申込方法：①ホームページから該当する催事参加申込フォームに必要事項を記入して送信
トップページ→What's Newの催事ご案内→[詳細]→申込方法：⇒申込フォーム
URL：<http://www.jspst.org/generateApplicationForm.cgi>

②下記する指定口座に参加費を振り込む（振込期限2022年5月31日）

振込口座：みずほ銀行（銀行コード0001）銀座支店（店番035）普通口座
口座番号：0050227 口座名義：シヤ）ニホンインサツガツカイ

【注意】

※振込の照合のため、振込者名は申込み時に登録した方の名前（フルネーム）として下さい

※振込手数料は振込者が負担

※参加費の領収書は金融機関から発行される振込票などをもって代えさせていただきます

※参加費振込後の申込み取消しは不可。代理出席をお願いします

※参加費が振込まれて申込みの受付が完了となります。未振込の状態では申込みは完了していません

※他の催事申込み用フォームが同じページに掲載されている場合がありますので、申込フォーム記入の際には、参加予定の催事をよく確認してください（ホームページが利用できない場合は、参加希望の催事名称と申込者の氏名、所属、連絡先、Eメールアドレスを明記してメールまたはFAXでお申し込み下さい）。

参加案内：参加費の振込確認後、6月6日（月）午後に参加認証メール（セミナー視聴用資料PDFダウンロード方法を記載）を登録されたEメールアドレスに一斉配信予定

※迷惑メール設定をされている場合は、同学会からのメールが受信可能な設定にしてください

※6月6日（月）中に参加認証メールが届かない場合は、下記連絡先に問い合わせ下さい

連絡先：（一社）日本印刷学会事務局

TEL：03-3551-1808 FAX：03-3552-7206 E-mail：nijospst-h@jpsst.org

お断り：終了時間は予定であり、多少前後することがあります。都合によって講師および演題を変更する場合があります